

Pioneer

マルチプレーヤー

CDJ-2000NXS

CDJ-2000nexus

このたびは、パイオニア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機には、以下の2種類の説明書が付属しています。

CDJ-2000NXS 取扱説明書(本書) ご使用前に(重要)/クイックスタートガイド

製品の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、ご使用前に(重要)/クイックスタートガイドと本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

これらの説明書は、「保証書」、「サービス窓口のご案内」と一緒に保管してください。

ご相談窓口・修理窓口のご案内

お取り扱いにお困りのとき、本書の巻末をご覧ください。

<http://pioneerdj.com/support/>

上記の弊社ホームページでは、困ったときによくある質問やソフトウェアの情報など、より快適に製品をお使いいただくための各種情報やサービスを提供しております。

<http://rekordbox.com/>

rekordbox™の各種情報やサービスについては、上記のオンラインサポートをご覧ください。

取扱説明書



もくじ

本書の見かた

本書では、コンピュータ画面に表示される画面名、メニュー名、および製品本体ボタン名および端子名などを、[] で囲んで記載しています。

記載例：

- [CUE] ボタンを押す
- [UTILITY] 画面が表示されます。
- Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox 2.x.x] > [rekordbox 2.x.x] をクリックする
- LAN ケーブルを [LINK] 端子に正しく接続してください。

01 はじめに

本機の特長 3

02 準備する

対応ソースについて 5
使用できるメディア 5
再生できる音楽ファイルフォーマット 7
コンピュータと組み合わせて使える機能 8

03 接続する

各端子の説明 11
基本スタイル 11
他社製 DJ ソフトウェアを使う 14
リレー再生のための接続をする 14

04 各部の名前とはたらき

コントロールパネル 15
本体背面部 18
本体前面部 18
本体表示部 19
ジョグダイヤル表示部 20

05 操作する（基本編）

電源の入れかた 21
電源の切りかた 21
ディスクの入れかたと出しかた 21
SD メモリーカードの入れかたと出しかた 22
USB デバイスの付けかたと外しかた 22
再生する 22
ジョグダイヤルを操作する 24
再生と停止の速度を調整する 24

06 操作する（応用編）

キューを設定する 25
ループを設定する 25
ホットキューを設定する 26
キューポイントまたはループポイントを保存する 27
保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する 27
オートキューのキューポイントを設定する 28
スリップを使う 28
[NEEDLE SEARCH] パッドに触れた位置から再生する 29
ビートシンクを使う 29
他機器と組み合わせて操作する 30
トラックをブラウズする 30
その他のブラウズ操作 31
ホットキューバンクを使う 32
演奏履歴を参照する (HISTORY) 32
タグリストを編集する 33
ロードされているトラックの詳細情報を表示する 34
曲のレーティングを変更する 35
他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する 35

07 設定を変更する

設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録する 36
記録メディア (SD, USB) に記録した設定内容を読み出す 36
[UTILITY] 画面を表示する 36
設定を変更する 36
PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する 38
ドライバソフトウェアについて (Windows) 38

08 他社製 DJ ソフトウェアを使う

MIDI を使って DJ ソフトウェアを操作する 40

09 その他

故障かな? と思ったら 42
液晶画面について 43
iPod/iPhone/iPad について 43
エラー表示 44
本体表示部表示アイコン一覧 44
保証とアフターサービス 45
使用上のご注意 45
ディスクの取り扱いかた 45
商標および登録商標について 46
仕様 46

本機の特長

本機はディスク/クラブシーンで求められるさまざまな機能、耐久性、および操作性を実現するプロ DJ 向けマルチプレーヤーです。

MULTI MEDIA, MULTI FORMAT

ディスク (CD または DVD) だけでなく、SD メモリーカード、USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) に記録されている音楽ファイルを再生できます。また、音楽ファイルのフォーマットは、音楽 CD (CD-DA)、MP3 はもちろん、AAC、WAV、AIFF に対応しています。

付属の音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows) を使って、DJ プレイに必要なプレイリスト、キュー、ループ、ホットキューおよびビートグリッドなどを自宅でじっくり準備できます。当日はディスク/クラブでの DJ プレイに安心して専念できます。音楽ファイルの入手から DJ プレイまで、各ステップをスムーズに連携させた DJ サイクルを実現します。

rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

付属の音楽管理ソフトウェア rekordbox を使って、コンピュータ内の音楽ファイルをさまざまな方法で管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせることで、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。本書では、Mac/Windows 版 rekordbox を rekordbox (Mac/Windows) と表記しています。また、rekordbox (Mac/Windows) および rekordbox (iOS/Android) を同時に表現する場合や、rekordbox 機能そのものを表現する場合に rekordbox と表記しています。

rekordbox (iOS/Android)

無償でダウンロードできるスマートフォンアプリ rekordbox (iOS/Android) を使って、モバイルデバイス内の音楽ファイルを管理 (解析、設定、作成、履歴保存) できます。rekordbox (iOS/Android) で管理された音楽ファイルを本機と組み合わせて使うことによって、優れた DJ パフォーマンスを実現できます。

- 本書では、モバイルデバイス版 rekordbox を rekordbox (iOS/Android) と表記しています。

PRO DJ LINK

SD メモリーカード、または USB デバイス (フラッシュメモリーまたはハードディスク) を使った「SD & USB Export」と、rekordbox がインストールされているコンピュータを使った「rekordbox LINK Export」があります。

❖ SD & USB Export

記録メディア (SD、USB) を使って rekordbox の音楽ファイルや管理データを受け渡しできます。ディスクやクラブにコンピュータを持ち込む必要がありません。

自宅・スタジオ



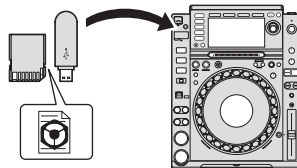
- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。



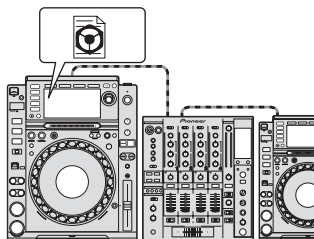
rekordbox のデータを記録メディア (SD、USB) に書き出す。



ディスク・クラブ



記録メディア (SD、USB) を DJ プレーヤーにセットする。



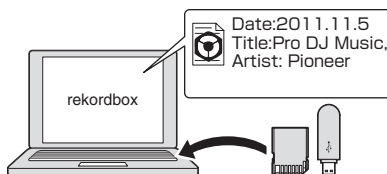
- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。



演奏履歴が記録メディア (SD、USB) に保存される。



自宅・スタジオ



演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

❖ rekordbox LINK Export

本機とコンピュータをLANケーブルを使って接続すると、rekordboxの音楽ファイルや管理データを直接受け渡すことができます。記録メディア(SD、USB)にデータをエクスポートする手間を省けます。無線LANルーター(または無線LANアクセスポイント)を使用した無線接続も可能です。

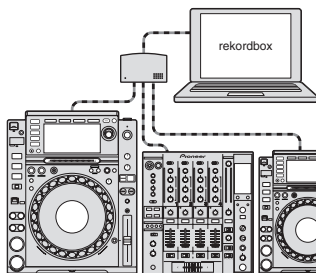
自宅・スタジオ



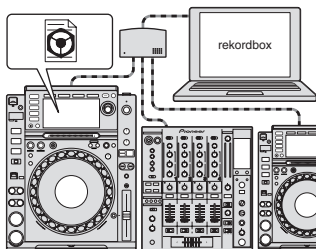
- 音楽ファイルをコレクションに追加・解析する。
- rekordbox で準備する。



ディスコ・クラブ



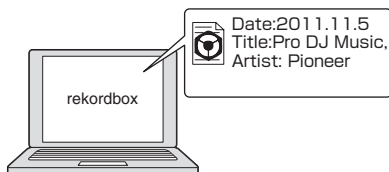
コンピュータとDJプレーヤーを接続する。



- rekordbox のデータを使って演奏する。
- PRO DJ LINK を使って rekordbox のデータを共有する。



自宅・スタジオ



演奏履歴を rekordbox で確認・管理する。

BEAT SYNC

本機で再生する楽曲のテンポと拍位置を PRO DJ LINK 接続されている他のDJプレーヤーに自動的に合わせることができます。ビートシンク機能によってミックスをアシストすることで、ミキシングやエフェクトなどのパフォーマンスが可能になり、DJプレイの幅が大きく広がります。(ビートシンク機能を使用するためには rekordbox で楽曲をあらかじめ解析しておく必要があります。)

MY SETTINGS

本機の設定の一部を記録メディア(SD、USB)に書き込み、呼び出すことができます。また、rekordbox を使用して本機の設定を行うこともできます。ディスク/クラブでプレイする際に、自宅で使用している設定を即座に呼び出せるので、安心してプレイに専念することができます。

BROWSE

6.1 インチ大型カラーLCDを採用。テキストデータだけでなく、ジャケット写真も表示できます。音楽ファイルの情報をわかりやすく表示するGUIと、簡単に操作できるロータリーセレクターの組み合わせにより、ストレスなく選曲できます。

WAVE ZOOM

拡大/縮小可能な楽曲の拡大波形を表示します。拡大波形は帯域別に色分けされていますので、より詳細な楽曲の情報を視認することができます。

BEAT COUNT DOWN

保存されたキューポイントまでの拍数を表示します。楽曲のブレイク部分などにキューポイントをあらかじめ設定して保存しておくことで、設定したポイントまでの正確な拍数を把握することができます。

QUANTIZE

rekordbox で解析された楽曲なら、ラフにボタンを押してもオンビートとなるQUANTIZE機能を備えています。リアルタイムキューやホットキューを設定するときにボタンを押した位置に最も近い拍に自動で合わせます。

本機では設定時だけでなく、プレイ中にループ/リバース/ホットキューなどを使用するときにも再生中のリズムを崩すことなくオンビートの確実なパフォーマンスを可能にします。

SLIP MODE

ループ/リバース/スクラッチ/ホットキュー/ポーズ中にバックグラウンドで楽曲を動かしながら続けるSLIPモード機能を搭載しています。これにより、ループ/リバース/スクラッチ/ホットキュー/ポーズ後も原曲の展開を変えずに斬新なDJパフォーマンスをすることができます。

HIGH SOUND QUALITY

デジタル出力/アナログ出力の両面において、徹底した音質の改善・向上を図っています。

デジタル面では、ウォルソン社製の高性能D/Aコンバーターを搭載。微細な音までも忠実に描き出し、クリアで量感・音場感あふれる高音質を実現しています。

アナログ面では、原音を濁らせる原因となる20kHz以上の可聴帯域外ノイズを極限まで低減するため、ハイブリッドOPアンプ回路を採用。不要なデジタルノイズをシャットアウトし、原音に忠実なサウンドを実現しています。

SOUND CARD

本機は他社DJソフトウェアをコントロールする専用インターフェイスやMIDIインターフェイスを装備しています。またサウンドカードを内蔵しているため、他の機器ともシンプルに接続できます。

準備する

対応ソースについて

本機は以下のソースに対応しています。

- ディスク (5ページ)
- USB デバイス (6ページ)
- SD メモリーカード (6ページ)
- コンピュータ (23ページ)

付属の CD-ROM について







付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピュータにインストールすると、本機とコンピュータを組み合わせてお使いいただけます。付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。

- 音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows)
- ドライブソフトウェア

使用できるメディア

ディスクについて

本機は以下のディスクを再生できます。

種類	マーク ^①	対応 フォーマット	対応ファイル システム
CD		<ul style="list-style-type: none"> • 音楽 CD (CD-DA) 	—
CD-R		<ul style="list-style-type: none"> • 音楽 CD (CD-DA) • CD-ROM 	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
CD-RW			
CD-TEXT ^②		音楽 CD (CD-DA)	—
DVD-R DVD-R DL (二層)			
DVD-RW		DVD-ROM	ISO9660 level 1, ISO9660 level 2, Romeo and Joliet
DVD+R DVD+R DL (二層)			
DVD+RW			

① 表中のマークがディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに表記されているディスクを再生できます。

② CD-TEXT に記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。

❖ 再生できないディスク

- DTS-CD
- フォト CD
- ビデオ CD
- CD グラフィックス (CD-G)
- ファイナライズしていない CD
- DVD ビデオ
- DVD オーディオ
- DVD-RAM
- ファイナライズしていない DVD

❖ CD-R/-RW について

CD-R/-RW に記録されている音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) を再生できます。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	2 000 フォルダ
最大ファイル数	3 000 ファイル

フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

❖ コンピュータや DVD レコーダーで作成したディスクの再生について

アプリケーションの設定やコンピュータの環境設定によっては、コンピュータで作成したディスクは再生できないことがあります。本機で再生可能なフォーマットで記録してください。詳しくは、アプリケーションの発売元にお問い合わせください。

コンピュータや DVD レコーダーで作成したディスクは、ディスクの特性・傷・汚れや記録レンズの汚れなどによって記録品質がよくないときは、再生できないことがあります。ディスクの取り扱いについては、45ページの「ディスクの取り扱いかた」をご覧ください。

❖ バックアップディスク作成のおすすめ

CD-R/-RW、DVD-R/-RW、DVD+R/+RW、DVD-R DL (二層)、DVD+R DL (二層) は、一時停止またはキューポイントでの一時停止を長時間続けると、ディスクの性質上その場所が再生しづらくなる場合があります。ループ再生を特定の場所で極端に繰り返したときも、その場所が再生しづらくなる場合があります。大切なディスクを再生するときは、バックアップディスクの作成をお勧めします。

❖ コピーコントロール CD について

本機は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作および性能は保証できません。

❖ DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

DVD 面ではない、オーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

❖ 8 cm ディスクについて

8 cm ディスクは再生できません。また、8 cm アダプターをディスクに取り付けて本機で再生しないでください。ディスクの回転中にアダプターが外れてディスクの破損および本機の故障の原因になります。

SD メモリーカードについて

SD 規格に準拠した SD メモリーカードに記録されている音楽ファイル (MP3/AAC/WAV/AIFF) を再生できます。ディスク識別情報、キューポイント、ループポイント、およびホットキューなどの情報を SD メモリーカードに記録できます。以降の本書説明内での「SD メモリーカード」は、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SD メモリーカードアダプタを装着した miniSD メモリーカード、SD メモリーカードアダプタを装着した microSD メモリーカードを総称しています。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるフォルダは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応カード ^①	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカード: 8 MB ~ 2 GBSDHC メモリーカード: 4 GB ~ 32 GB
対応フォーマット	<ul style="list-style-type: none">SD メモリーカード: FAT12, FAT16 (SD 規格に準拠)SDHC メモリーカード: FAT32 (SD 規格に準拠)

① CPRM には対応していません。

- 上記の対応フォーマットでフォーマットされていない SD メモリーカードを挿入すると、**[FORMAT SD]** と表示されて使用できません。コンピュータなどでフォーマットし直してから使用してください。
- 本機はすべての SD メモリーカードの動作を保証するものではありません。

❖ SD メモリーカードをお使いいただくときのご注意

- SD メモリーカードは精密電子機器です。取り扱いにご注意ください。曲げたり、強い力や衝撃を加えたり、落としたりすると SD メモリーカードが壊れることがあります。また、静電気や電気ノイズが発生しやすい環境で使用・保管しないでください。大切なデータは定期的に複製を作成することをおすすめします。
- 本機との接続により、SD メモリーカードにお客様が記録されたデータが損失またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 取り出した SD メモリーカードは、専用ケースに入れるなどして保管してください。
- お使いの SD メモリーカードによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

USB デバイスについて

本機は、外付けハードディスク、携帯フラッシュメモリー、およびデジタルオーディオプレーヤーなどの USB マスストレージクラスの USB デバイスに対応しています。

フォルダ階層	最大 8 階層 (8 階層を超えるフォルダに含まれているファイルは再生できません)。
最大フォルダ数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるフォルダは表示できません)。
最大ファイル数	無制限 (1 つのフォルダ内に 10 000 を超えるファイルは表示できません)。
対応ファイルシステム	FAT16, FAT32, HFS+ (NTFS には対応していません)

rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスを USB 経由で接続することにより、rekordbox の管理している楽曲を再生できます。対応機器については Pioneer DJ ホームページ (<http://pioneerdj.com/support/>) でご確認ください。rekordbox (iOS/Android) については rekordbox (iOS/Android) のユーザーマニュアルをご覧ください。

フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。

制限を超えるフォルダ、ファイルは表示できません。

❖ 使用できない USB デバイス

- 外付け DVD/CD ドライブなどの光ディスク系デバイスは使えません。
- USB ハブは使えません。
- iPod は使えません。(iPad, iPod touch, iPhone 内の音楽データは rekordbox (iOS/Android) のライブラリに加えられない限り、本機で再生できません。)

❖ USB デバイスをお使いいただくときのご注意

- USB デバイスによっては正常に動作しないことがあります。本機との接続により、USB デバイスにお客様が記録されたデータが損失またはその他の直接・間接の障害が発生した場合でも、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機の USB デバイス挿入口に許容量以上の電流が流れると **[USB STOP]** インジケーターが点滅し、USB デバイスへの電源供給を停止して通信を止めることがあります。正常な状態に戻すためには、本機に接続された USB デバイスを取り外してください。過電流が検出された USB デバイスの再使用は避けてください。以上の方法で正常な状態に戻らない (通信しない) ときは、いったん本機の電源をオフしてから再度電源をオンしてください。
- USB デバイスに複数のパーティションの設定をしているときは、最初のパーティションだけ使えます。(rekordbox のライブラリ情報がある場合は、rekordbox のライブラリ情報の格納されているパーティションが優先されます。)
- フラッシュカードリーダー搭載の USB デバイスは正常に動作しないことがあります。
- お使いの USB デバイスによっては期待したパフォーマンスが得られないことがあります。

再生できる音楽ファイルフォーマット

本機は以下のフォーマットに従った音楽ファイルに対応しています。

種類	ファイル拡張子	対応フォーマット	ビット処理	ビットレート	サンプリング周波数	エンコード方式
MP3	.mp3	MPEG-1 AUDIO LAYER-3	16 bit	32 kbps ~ 320 kbps	32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AUDIO LAYER-3	16 bit	8 kbps ~ 160 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz	CBR, VBR
AAC	.m4a, .aac, .mp4	MPEG-4 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
		MPEG-2 AAC LC	16 bit	16 kbps ~ 320 kbps	16 kHz, 22.05 kHz, 24 kHz, 32 kHz, 44.1 kHz, 48 kHz	CBR, VBR
WAV	.wav	WAV	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM
AIFF	.aif, .aiff	AIFF	16 bit, 24 bit	—	44.1 kHz, 48 kHz	非圧縮 PCM

MP3 ファイルについて

MP3 ファイルには、固定ビットレート (CBR:Constant Bit Rate) と可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) があります。本機ではどちらのファイルでも再生できますが、VBRは CBR に比べサーチやスーパー・ファースト・サーチの速度が遅くなります。操作性を優先するときは CBR で記録することをお勧めします。

AAC ファイルについて

- AAC とは、「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2、MPEG-4 で使われる音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- AAC データは、データ作成に使ったアプリケーションによってファイル形式と拡張子が異なります。
- 本機では、iTunes® によってエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルのほか、「.aac」、「.mp4」を再生できます。ただし iTunes STORE 等で購入された著作権が保護されている AAC ファイルは再生できません。またエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

ID3 タグについて

音楽ファイルから読み込めるタグ情報は、ID3 タグ (v1、v1.1、v2.2.0、v2.3.0、v2.4.0) またはメタタグです。

音楽ファイルのアートワークについて

音楽ファイルに追加できるアートワーク画像のファイル形式は、JPEG です (拡張子: ".jpg", ".jpeg")。

- 800 x 800 ドットより大きいファイルは表示できません。

文字表示について

❖ CD-TEXT

本機は CD-TEXT に対応しています。CD-TEXT で記録されているタイトル、アルバム名、アーティスト名を表示します。複数の TEXT 情報が記録されているときは、一番目の TEXT 情報を表示します。対応文字コードは以下のとおりです。

- ASCII
- ISO-8859
- MS-JIS
- Mandarin Chinese Character Code

❖ MP3/AAC

トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[LANGUAGE] 設定を変更してください。

- ☞ 「言語を変更する」(p.37)

コンピュータと組み合わせて使える機能

付属の CD-ROM について

付属の CD-ROM からソフトウェアをコンピュータにインストールすると、本機とコンピュータを組み合わせてお使いいただけます。付属の CD-ROM には以下 2 つのソフトウェアが含まれています。

❖ 音楽管理ソフトウェア rekordbox (Mac/Windows)

rekordbox は、rekordbox に対応したパイオニア製 DJ プレーヤーをお買い上げいただいたお客様が、DJ プレイに使う音楽ファイルを管理するためのソフトウェアです。

- コンピュータに保存されている音楽ファイルを分類・検索し、DJ シーンに応じたプレイリストを作成できます。
- 音楽ファイルの拍位置（ビート）、テンポ（BPM）などをあらかじめ検出・測定・調整しておくことができます。
- キュー、ループ、ホットキューなどのポイント情報をあらかじめ設定・保存しておくことができます。

rekordbox で準備した各種ポイント情報やプレイリストを使ってパイオニア DJ プレーヤーで演奏できるだけでなく、演奏後の演奏履歴、演奏回数、ポイント情報などを rekordbox にフィードバックできます。

❖ ドライバソフトウェア

本ドライバソフトウェアは、コンピュータからの音声を出力するための専用 ASIO ドライバです。本機を Windows がインストールされているコンピュータに接続してお使いになるときは、あらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください。

Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

- 詳しくは 38 ページの「ドライバソフトウェアをインストールする」をご覧ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

このソフトウェア使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とパイオニア株式会社（以下「当社」といいます）との間における、DJ 機器用ソフトウェア（以下「本ソフトウェア」といいます）の使用に関する事項を定めるものです。

本ソフトウェアをインストールし、あるいはご利用になるにあたっては、必ず以下の条項をよくお読み下さい。お客様が本ソフトウェアをご利用になった場合は、本契約に同意されたものとします。もし本契約に同意されない場合には、本ソフトウェアのインストール及びご利用をおやめ下さい。

（使用許諾）

本契約の内容に従うことを条件として、お客様は、本ソフトウェアを一台のパーソナル・コンピュータ又は携帯端末にインストールして使用することができます。

（制限事項）

お客様は、本ソフトウェアの複製物を作成しあるいは配布し、またはネットワークを通じあるいは一台のコンピュータから別のコンピュータに送信してはなりません。また、お客様は、本ソフトウェアの変更、販売、貸与、譲渡、転売、本ソフトウェアの二次的著作物の頒布又は作成等を行うことはできず、さらに、逆コンパイル、リバース・エンジニアリング、逆アセンブルし、その他、人間の覚知可能な形態に変更することもできません。

（著作権等）

本ソフトウェアに関する著作権その他一切の知的財産権は、当社あるいはその関連会社に帰属します。本ソフトウェアは、著作権法及び国際条約の規定により保護されています。

（保証及び技術サポートの否認）

本ソフトウェア及びそれに付随する一切の資料等は、あくまで「現状のまま」提供されます。当社は、お客様や第三者に対して、これらの商品性、特定目的への適合性、他人の権利を侵害しないこと、その他一切の事項について保証せず、また、これらに対する技術サポートを行うことも保証しません。なお、国や地域によっては強行法規によってかかる保証の否認が認められないことがありますので、その場合には、かかる

保証の否認は適用されないことがあります。また、お客様の権利は、国や地域によっても異なり得ます。

（責任制限）

当社、その他本ソフトウェアの供給者は、お客様が本ソフトウェア及びこれに付随する一切の資料を使用したこと又は使用できなかったことから生じる一切の損害（利益の逸失、ビジネスの中断、情報の消失・毀損などによる損害を含みますが、これらに限定されません）に関しては、たとえ当社が、そのような損害が生じる可能性を知らされていた場合であったとしても、一切責任を負いません。国や地域によっては強行法規によって付随的又は間接損害に対する責任の制限が認められないことがありますので、その場合には、かかる責任制限は適用されないことがあります。なお、いかなる場合においても、本ソフトウェアに関する当社またはその子会社の責任は、お客様が当社またはその子会社に対して支払った金額を超えないものとします。かかる保証の否認や責任制限は、お客様と当社との間の取り決めにおける基本的な要素です。

（準拠法）

本契約は、日本国の法令に準拠し、これに基づいて解釈されるものとします。本契約は、本ソフトウェアの使用について、お客様と当社の取り決めのすべてを記載するものであり、本件に関する従前のあらゆる合意（それが口頭でなされたか文書によりなされたかを問いません）に優先して適用されます。本契約に関連して紛争が生じた場合は、東京地方裁判所を第一審の専属管轄裁判所とします。

著作権についてのご注意

rekordbox では、著作権保護の対象となる音楽コンテンツの再生や複製が制限されています。

- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれているときは、プログラムが正しく動作できないことがあります。
- 音楽コンテンツに著作権保護のための暗号データなどが埋め込まれていることを検知したときは、再生や読み込みなどの処理を中止することがあります。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- CD などから録音される音楽は、各国の著作権法ならびに国際条約で保護されています。また、録音した者自身が、それを合法的に使用する上でのすべての責任を負います。
- インターネットなどからダウンロードされる音楽を取り扱う際は、ダウンロードした者自身が、ダウンロードサイトとの契約に則ってそれを使用する上でのすべての責任を負います。

rekordbox (Mac/Windows) インストール時のご注意

rekordbox をインストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。

- 付属の CD-ROM には、以下の 12 言語のインストールプログラムと操作説明書が収録されています。英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、日本語
- その他の言語の OS でお使いになるときは、画面の指示に従って [English (英語)] を選んでインストールしてください。

対応 OS

Mac OS X (10.5.8 以降)	○
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版 ○ 64 ビット版 ○
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/ Ultimate (SP2 以降)	32 ビット版 ○ 64 ビット版 ○
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP3 以降)	32 ビット版 ○

❖ rekordbox (Mac/Windows) の最低動作環境

インストールを開始する前に、お使いになっているコンピュータが下記の動作環境に合っているかをご確認ください。

CPU	Mac OS X のとき デュアルコア 1.6 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した Macintosh コンピュータ	デュアルコア 2.0 GHz 以上の Intel® プロセッサを搭載した PC/AT 互換コンピュータ
必要メモリー	1 GB 以上の RAM	
ハードディスク	250 MB 以上の空き容量（音楽ファイルなどの保存に要する容量を除く）	
光学ドライブ	CD-ROM の読み込みが可能な光ディスクドライブ	
サウンド	スピーカーやヘッドホンなどへのオーディオ出力（内蔵または外付けのオーディオデバイス）	
インターネット接続	ユーザー登録およびお問い合わせの際には、128 ビット SSL に対応したウェブブラウザをお使いください（Safari 2.0 以上または Internet Explorer® 6.0 以上など）。	
USB ポート	USB デバイス（フラッシュメモリーやハードディスクなど）に音楽ファイルを転送するときは、USB デバイスと接続するための USB ポートが必要です。	
LAN ポート	当社の DJ プレーヤーに音楽ファイルを転送するときは、DJ プレーヤーと通信するためのイーサネット LAN アダプター（RJ45 ポート）が必要です。	

- 上記の動作環境をみたしているすべてのコンピュータにおける動作を保証するものではありません。
- 上記の動作環境に記載されている必要メモリー容量を搭載していても、以下のような場合ではメモリー不足によってソフトウェアの機能・性能が発揮できないことがあります。このようなときは、十分な空きメモリーを確保してください。安定した動作をさせるにはメモリーの増設をお勧めします。
 - rekordbox のライブラリ内で管理されているトラックの数が多いとき
 - 常駐プログラムやサービスが動作しているとき
- コンピュータの省電力設定などの状態によっては、CPU やハードディスクの処理能力を十分に発揮できないことがあります。特にノート型コンピュータをお使いのときは、AC 電源を接続するなどして、常に高パフォーマンス状態のセッティングで rekordbox をお使いください。
- お客様がお使いになっている他のソフトウェアとの組み合わせによっては、rekordbox の動作に不具合が発生することがあります。

rekordbox (Mac/Windows) をインストールする

rekordbox をインストールする前に「rekordbox (Mac/Windows) インストール時のご注意」をよくお読みください。

❖ インストールの手順 (Macintosh)

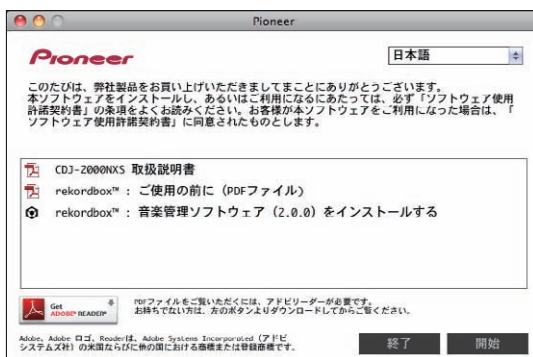
- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入すると画面上に光学ドライブが開くので、[CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックする

- CD-ROM を挿入しても画面上に光学ドライブが開かないときは、Finder で光学ドライブを開いてから [CD_menu.app] のアイコンをダブルクリックしてください。



2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする



- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 使用許諾契約画面が表示されたら、[日本語] を選んで「ソフトウェア使用許諾契約書」をよく読んでから [続ける] をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します] をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しただけなときは、[同意しません] をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

❖ インストールの手順 (Windows)

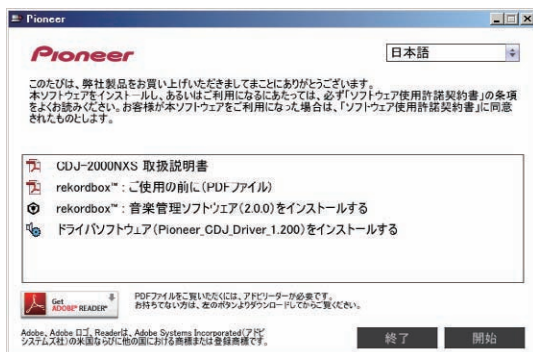
- rekordbox をインストール、アンインストールするには、コンピュータの管理者権限が必要です。コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログインしてからインストールしてください。

1 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から光学ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

2 CD-ROM のメニューが表示されたら、[rekordbox: 音楽管理ソフトウェアをインストールする] を選んでから [開始] をクリックする



- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

3 言語選択画面が表示されたら、[日本語] を選んでから [OK] をクリックする

- お客様のコンピュータの環境によっては、複数の言語から表示言語を選べます。

4 使用許諾契約画面が表示されたら、「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意されるときは、[同意します]をクリックする

- 「ソフトウェア使用許諾契約書」に同意しただけでないときは、[キャンセル]をクリックして、インストールを中止してください。

5 画面の指示に従って rekordbox をインストールする

- インストールを途中で中止するときは [キャンセル] をクリックしてください。

rekordbox (Mac/Windows) を起動する / 操作説明書を参照する

コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログイン（またはログオン）してから rekordbox をお使いください。

- はじめて rekordbox を起動する際には、ライセンスキーを入力する必要があります。ライセンスキーは、CD-ROM の包装に貼り付けられています。

rekordbox を起動すると、rekordbox の [ヘルプ] メニューから操作説明書をご覧になれます。

- コンピュータがインターネットに接続されていれば、オンラインマニュアルやオンラインサポートにもアクセスできます。

❖ Mac OS X のとき

Finder で [Application] フォルダを開いてから [rekordbox 2.x.x.app] をダブルクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

❖ Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XP のとき

Windows の [スタート] メニューから、[すべてのプログラム] > [Pioneer] > [rekordbox 2.x.x] > [rekordbox 2.x.x] をクリックする

- 2.x.x は rekordbox のバージョンを示します。

rekordbox (iOS/Android) をインストールする

スマートフォンやタブレットデバイス等などのモバイルデバイスには rekordbox (iOS/Android) をインストールしてください。インストール方法や対応 OS のバージョンについては、弊社ウェブサイト (<http://www.rekordbox.com>) をご覧ください。

オンラインサポートのご利用について

rekordbox の操作方法や技術的な質問をお問い合わせいただく前に、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書およびオンラインマニュアルをお読みいただくとともに rekordbox のオンラインサポートに掲載されております FAQ をご確認ください。

<rekordbox のオンラインサポート>

<http://www.rekordbox.com>

- rekordbox についてお問い合わせいただくには、事前に rekordbox のオンラインサポートでユーザー登録を行う必要があります。
- ユーザー登録の際にはライセンスキーの入力が必要ですので、お手元にライセンスキーをご用意ください。なお、ユーザー登録の際にご指定いただきました「ログインネーム（お客様の e-mail アドレス）」と「パスワード」は、ライセンスキーと同様、お忘れにならないように十分ご注意ください。
- パイオニアグループでは、以下の使用目的のためにお客様の個人情報を収集させていただいております。
 - 1 お買い上げいただいた商品のアフターサービスをご提供させていただくため
 - 2 商品に関する重要な情報やイベント情報を電子メールでお客様にお知らせするため

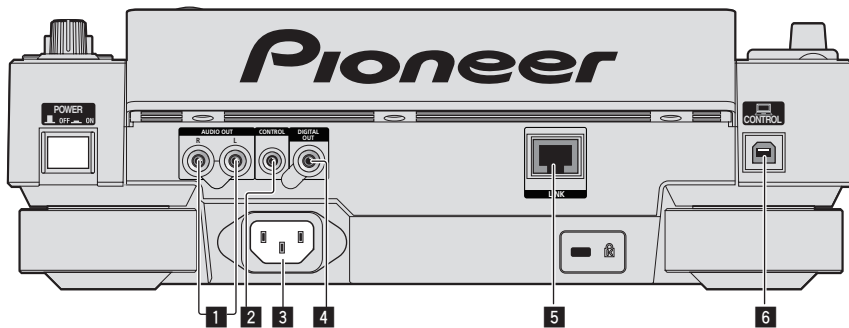
3 お客様よりアンケートを収集させていただき、調査結果を商品企画に反映するため

- お客様から収集する個人情報は当社が定める個人情報保護方針に則って厳重に管理いたします。
- 当社の個人情報保護方針は rekordbox のオンラインサポートでご覧いただけます。
- rekordbox についてのお問い合わせの際には、お客様のコンピュータの機種名およびスペックの詳細 (CPU・メモリー搭載量・接続している周辺機器など)・オペレーティングシステムのバージョン・具体的な不具合の症状を必ずご連絡ください。
 - コンピュータや周辺機器など、当社の取り扱い製品以外の組み合わせや技術的な質問に関しては、各メーカーまたは販売代理店へご確認ください。
- 今後、rekordbox の機能・性能向上のためのバージョンアップを予定しております。rekordbox のオンラインサポートからアップデートプログラムをダウンロードできます。是非ともこのアップデートを行っていただき、常に最新バージョンをお使いいただけますようお願い申し上げます。

接続する

- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
 - 接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
 - 電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。
- LAN ケーブルを使って接続を行う際は、必ず本製品に付属の LAN ケーブルまたは STP (シールドケーブル) をご使用ください。
 - PRO DJ LINK を使って音楽ファイルまたは情報を共有しているときは、LAN ケーブルを取り外さないでください。

各端子の説明



1 AUDIO OUT L/R 端子

音声ケーブル (付属) を接続します。

2 CONTROL 端子

リレー再生用にコントロール信号を送るため、DJ プレーヤーと DJ プレーヤーをモノラルミニフォンプラグ (Ø 3.5 mm) のケーブル (市販) でつなぐ際に使います。

☞ 「リレー再生のための接続をする」(p.14)

3 AC IN

コンセントと接続します。

電源コードは、機器の接続がすべて終わってから接続してください。

必ず付属の電源コードをお使いください。

4 DIGITAL OUT 端子

同軸デジタルケーブルを接続します。

5 LINK 端子

LAN ケーブル (付属) を接続します。

6 USB 端子

コンピュータと接続します。

⚠ 注意

製品の仕様により、本体部やリモコン (付属の場合) のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらず見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ (遮断装置) をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ (遮断装置) に簡単に手が届くように設置し、旅行などで長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

基本スタイル

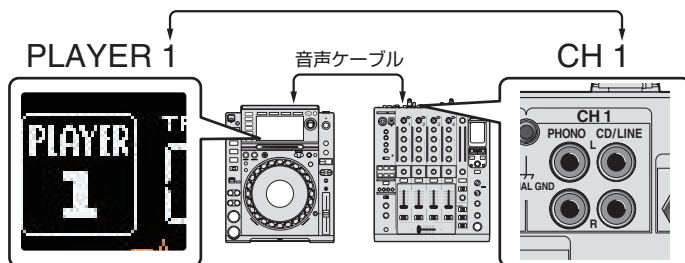
本機のプレイには、コンピュータにインストールされた rekordbox で準備されたトラックを主に使用します。

- rekordbox の操作については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書は、rekordbox (Mac/Windows) の [ヘルプ] メニューからご覧いただけます。
- また、DJ プレーヤーと DJ ミキサーは PRO DJ LINK 接続を行い、LAN ケーブル (CAT5e) を使って、PRO DJ LINK 対応のプレーヤーを最大 4 台まで接続できます。
- 組み合わせる機種によっては、スイッチングハブ (市販) が必要です。100 Mbps 以上のスイッチングハブをお使いください。スイッチングハブによっては正常に動作しないことがあります。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ (市販) が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピュータの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。
- 無線ルーター (市販) およびアクセスポイント (市販) は IEEE802.11n、IEEE802.11g のいずれかに対応した製品をお使いください。ご使用環境の電波状況や、無線ルーターおよびアクセスポイントによっては、PRO DJ LINK 接続が正常に動作しない場合があります。

LANポートが1つしかないミキサーに接続する場合

LANポートが1つしかないミキサーにスイッチングハブを使って接続する場合、rekordboxの音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、音声ケーブルまたは同軸デジタルケーブルが接続されたミキサー側のチャンネル番号と本体表示部左下部のプレーヤー番号を合わせてください。

(例：チャンネル1に音声ケーブルで接続する場合)



プレーヤー番号を変更したい場合は、以下の手順に従って変更してください。

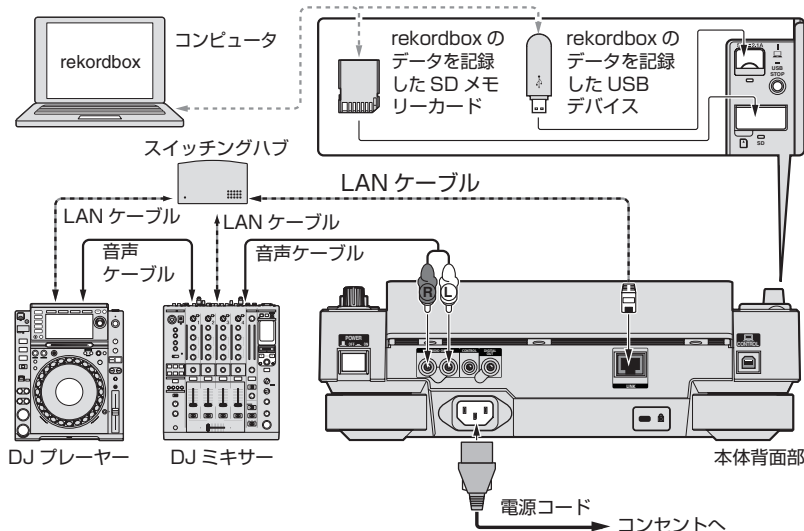
- ① 記録メディア (SD, USB) を取り外し、LAN ケーブルを抜く
- ② [MENU/UTILITY] ボタンを1秒以上押して、[UTILITY] 画面を表示させる
- ③ ロータリーセレクターを回して [PLAYER No.] を選び、ロータリーセレクターを押す
- ④ ロータリーセレクターを回してプレーヤー番号を選び、ロータリーセレクターを押して決定する



- ⑤ [MENU/UTILITY] ボタンを押して、設定を終了する

PRO DJ LINK(SD & USB Export)

- DJブースにコンピュータを持ち込まずに、メモリーデバイス（フラッシュメモリー、ハードディスク等）を使って、rekordboxの音楽ファイルやデータを本機と受け渡しできます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。



PRO DJ LINK(LINK Export)

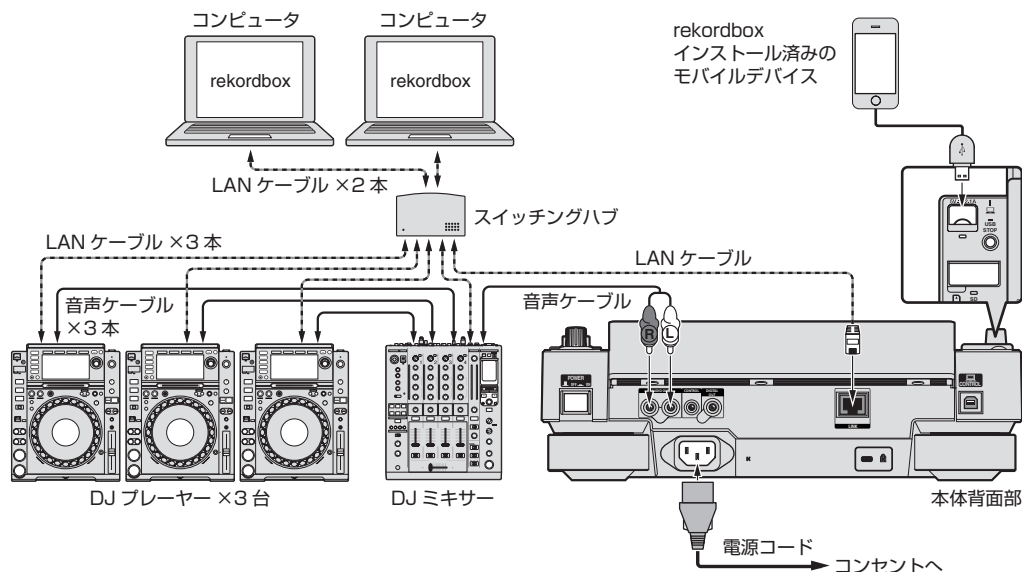
- DJブースにコンピュータを持ち込み、rekordboxがインストールされているコンピュータとLANケーブル (CAT5e) または無線LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲および再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。
- rekordbox (iOS/Android) がインストールされているモバイルデバイスとUSBケーブルまたは無線LAN (Wi-Fi) ルーターを使って接続すると、rekordbox内のトラックを選曲および再生できます。rekordboxであらかじめ設定しておいたプレイリスト、キュー、ループ、およびホットキューなどの情報を使って演奏できます。

- 有線 LAN 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピュータを最大 2 台まで接続できます。
- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、rekordbox がインストールされたコンピュータまたはモバイルデバイスを最大 4 台まで接続できます。

本製品に接続できる iPod/iPhone/iPad

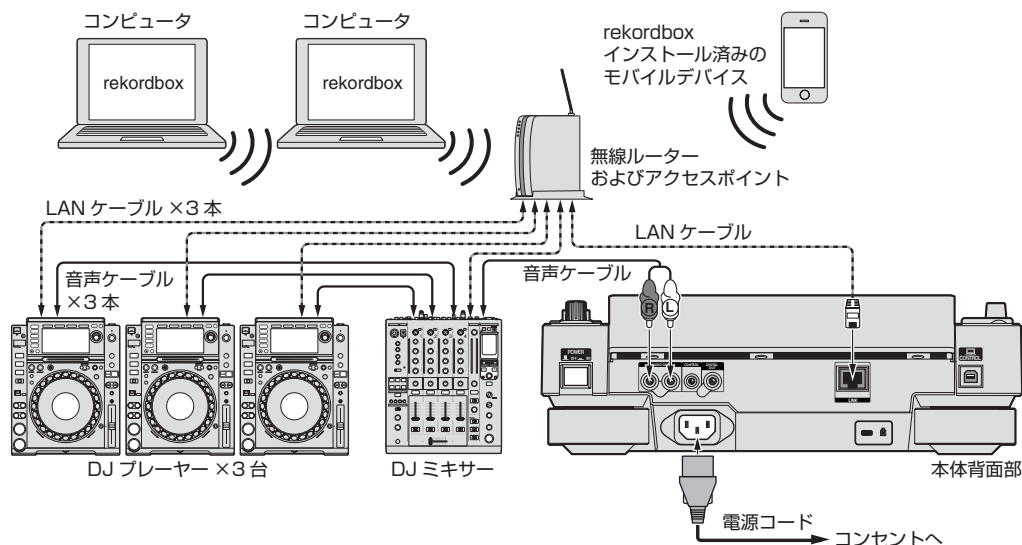
- 本製品は iPod touch (3rd and 4th generation)、iPhone 4S、iPhone 4、iPhone 3GS、iPad (3rd generation)、iPad 2、iPad に対応しています。
- 最新の対応機器については Pioneer ホームページ (<http://pioneerdj.com/support/>) でご確認ください。

❖ スイッチングハブを使うとき



- 本製品と iPod、iPhone および iPad を接続する場合は本製品付属の iPod ケーブルをご使用ください。
- LAN ポートが 1 つしかないミキサーと接続する場合は、スイッチングハブ（市販）が必要です。LAN ポートがシステム内の DJ プレーヤーおよびコンピュータの台数分あるミキサーの場合は、ハブは使わずに直接ミキサー背面の LAN ポートに接続してください。

❖ 無線ルーターおよびアクセスポイントを使うとき



ご注意

rekordbox の音楽ファイル管理機能を最大限に使用するために、ミキサーに入力した音声ケーブル、同軸デジタルケーブルのチャンネルとプレーヤー番号を合わせてください。

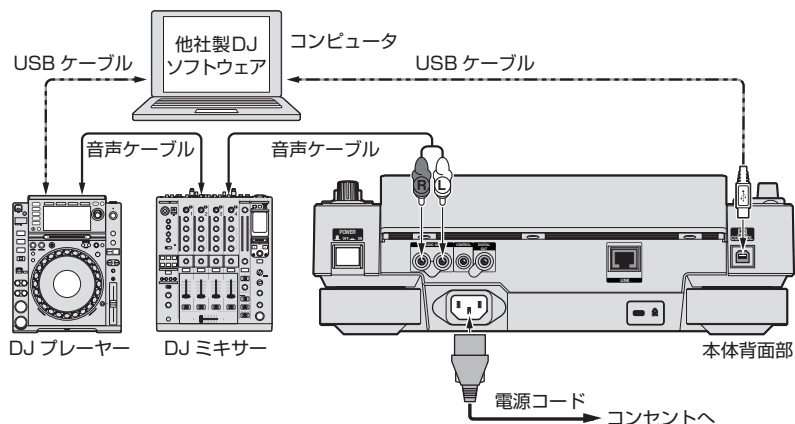
プレーヤー番号が異なるときは [UTILITY] 画面から [PLAYER No.] を変更してください。

- 本機にメディアがセットされているときは、[PLAYER No.] が灰色で表示され、変更できません。メディアを抜き、LAN ケーブルを抜くなどをしてリンクをオフにしてから設定を変更してください。

他社製 DJ ソフトウェアを使う

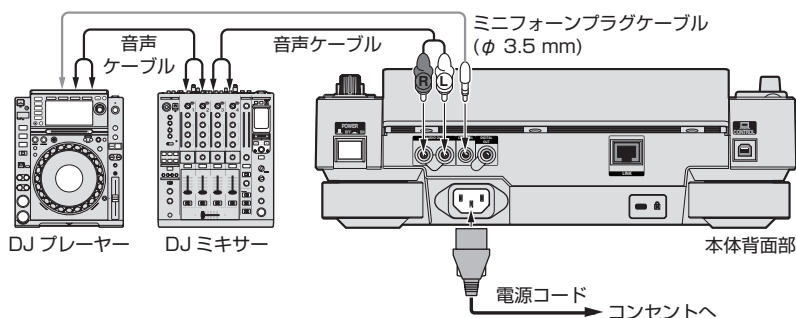
本機はボタンやテンポ調整つまみなどの操作情報を汎用の MIDI 形式でも出力します。MIDI 対応の DJ ソフトウェアをインストールしたパソコンと USB ケーブルを使って接続すると、本機で DJ ソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。詳しくは、38ページの「ドライバソフトウェアについて (Windows)」および 40ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

- Mac OS X (10.5.8 以降)、Windows Vista®、Windows® XP、または Windows 7 がインストールされているコンピュータを接続してください。



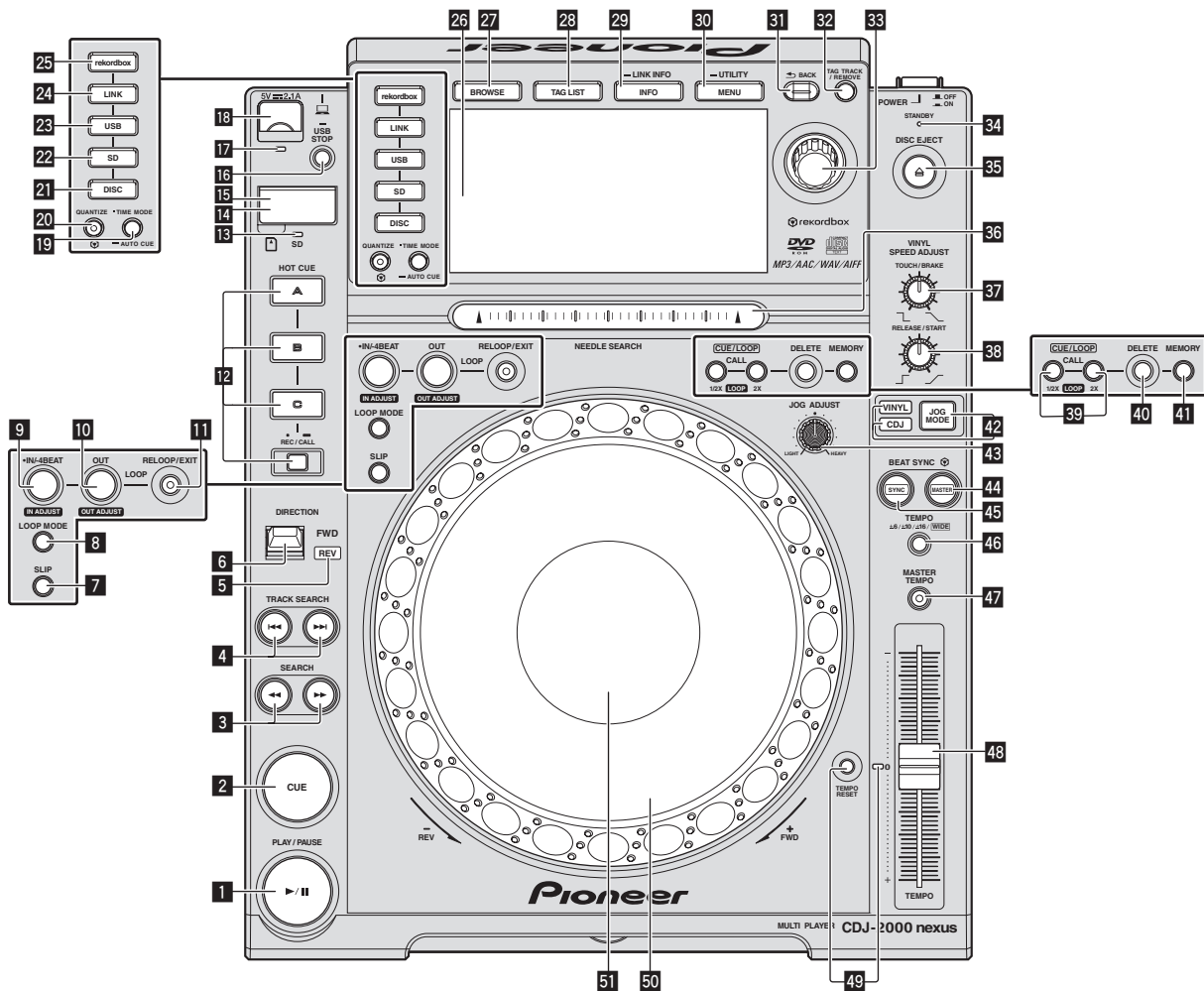
リレー再生のための接続をする

本機とパイオニア製 DJ プレーヤーの [CONTROL] 端子どうしをミニフーンプラグケーブル (φ 3.5 mm) を使って接続すると、2 台の DJ プレーヤーをリレー再生できます (30ページ)。



各部の名前とはたらき

コントロールパネル



1 PLAY/PAUSE ▶/II ボタン

トラックを再生しているとき点灯します。一時停止しているとき点滅します。
 ⇨ 「一時停止する」(p.23)

2 CUE ボタン

キューポイントが設定されているとき点灯します(頭出し(トラックサーチ)中を除く)。一時停止中に新しいキューポイントが設定できるとき点滅します。
 ⇨ 「キューを設定する」(p.25)

3 SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン

ボタンを押している間、トラックを早送り/早戻しします。
 ⇨ 「早送り/早戻しする」(p.23)

4 TRACK SEARCH ◀◀, ▶▶ ボタン

トラックを頭出しします。
 ⇨ 「頭出しする(トラックサーチ)」(p.23)

5 REV インジケーター

逆再生しているときに点灯します。
 ⇨ 「逆再生する」(p.24)

6 DIRECTION FWD REV レバー

逆再生をオン/オフします。
 ⇨ 「逆再生する」(p.24)

7 SLIP ボタン

⇨ 「スリップを使う」(p.28)

8 LOOP MODE ボタン

⇨ 「曲のテンポをもとに自動的にループを設定する(オートビートループ)」(p.26)

9 IN/4BEAT (IN ADJUST) ボタン

ループインポイントを設定および微調整します。
 ⇨ 「ループを設定する」(p.25)

10 LOOP OUT (OUT ADJUST) ボタン

ループアウトポイントを設定および微調整します。
 ⇨ 「ループを設定する」(p.25)

11 RELOOP/EXIT ボタン

ループ再生に戻る(リループ)、またはループ再生を解除します(ループイグジット)。
 ⇨ 「ループ再生に戻る(リループ)」(p.26)

12 HOT CUE (A, B, C, REC/CALL) ボタン

ホットキューを設定、再生、呼び出します。
☞ 「ホットキューを設定する」(p.26)

13 SD メモリーカードインジケータ

SD メモリーカードと通信しているときに点滅します。
☞ 「SD メモリーカードの入れかたと出しかた」(p.22)

14 SD メモリーカードドア

SD メモリーカードをセットまたは取り出しするときに、このドアを開け/閉めます。
☞ 「SD メモリーカードの入れかたと出しかた」(p.22)

15 SD メモリーカード挿入口

SD メモリーカードをセットします。
☞ 「SD メモリーカードの入れかたと出しかた」(p.22)

16 USB STOP ボタン

USB デバイスを取り外す前に 2 秒以上押します。
☞ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.22)

17 USB インジケータ

USB デバイスと通信しているときに点滅します。
☞ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.22)

18 USB デバイス挿入口

USB デバイスをセットします。
☞ 「USB デバイスの付けかたと外しかた」(p.22)

19 TIME MODE/AUTO CUE ボタン

1 回押すと本体表示部の時間表示方法(残り時間表示または経過時間表示)を切り換えます。
1 秒以上押すとオートキューをオン/オフします。
☞ 「オートキューを設定する」(p.25)

20 QUANTIZE ボタン

クオンタイズ機能を使用する時に押します。
クオンタイズ機能をオンに設定すると、ループインポイント、ループアウトポイント、ホットキュー、キューを設定するときに最も近い拍位置にポイントを自動で合わせます。
また、ホットキュー、ループ、リバース、スリップなどがビートを崩さずに使えます。

・クオンタイズ機能をオンに設定すると、本体表示部に [QUANTIZE] が表示されます。

☞ 「本体表示部」(p.19)
以下の状態ではクオンタイズ機能は働きません(灰色で表示されます)。

- ・ディスクに記録されているトラックを再生しているとき
- ・rekordbox で解析されていない音楽ファイルを再生しているとき

21 DISC ボタン

CD、CD-ROM、または DVD-ROM 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.22)

22 SD ボタン

SD メモリーカード内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.22)

23 USB ボタン

USB デバイス内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.22)

24 LINK ボタン

他の DJ プレーヤーにセットされている記録メディア (SD, USB) 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.23)

25 rekordbox ボタン

rekordbox 内の音楽ファイルを再生するときに押します。
☞ 「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.23)

26 本体表示部

[BROWSE] ボタン、[TAG LIST] ボタン、[INFO/LINK INFO] ボタンをすべてオフにする通常再生画面に切り換わります。
☞ 「本体表示部」(p.19)

27 BROWSE ボタン

[BROWSE] 画面を表示するときに押します。
☞ 「ブラウズ画面に切り換える」(p.30)

28 TAG LIST ボタン

[TAG LIST] 画面を表示するときに押します。
☞ 「タグリストを編集する」(p.33)

29 INFO/LINK INFO ボタン

[INFO] 画面を表示するときに押します。
1 秒以上押すと他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。
☞ 「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」(p.34)

30 MENU/UTILITY ボタン

1 回押すとメニュー画面を表示します。
1 秒以上押すと [UTILITY] 画面を表示します。
☞ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.36)

31 BACK ボタン

1 回押すと 1 つ前の画面に戻ります。
1 秒以上押すと一番上の階層に移動します。
☞ 「本機にセットされたメディアを再生する」(p.22)

32 TAG TRACK/REMOVE ボタン

タグリストにトラックを追加/削除します。
☞ 「タグリストを編集する」(p.33)

33 ロータリーセレクター

トラックや設定項目を選ぶとき、ロータリーセレクターを回すとカーソルが移動します。決定するときはロータリーセレクターを押します。

34 STANDBY インジケータ

スタンバイ状態のときに点灯します。
☞ 「オートスタンバイを設定する」(p.37)

35 DISC EJECT▲ ボタン

ディスクを取り出します。
☞ 「ディスクの出しかた」(p.21)

36 NEEDLE SEARCH パッド

パッドに触れた位置から音声を再生します。
☞ 「[NEEDLE SEARCH] パッドに触れた位置から再生する」(p.29)

37 VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE ツマミ

ジョグダイヤルの天面を押して、再生が停止するまでの速度を調整します。
☞ 「再生が停止するまでの速度を調整する」(p.24)

38 VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START ツマミ

ジョグダイヤルの天面から手を放して、通常の再生に戻るまでの速度を調整します。
☞ 「通常の再生に戻るまでの速度を調整する」(p.24)

39 CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X), ▶(LOOP 2X) ボタン

保存されているキューまたはループを呼び出します。
☞ 「保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す」(p.27)

ループ再生中に押すとループを分割または延長します。

- ☞ 「ループを分割する(ループカッター)」(p.26)
- ☞ 「ループを延長する(ループダブル)」(p.26)

40 DELETE ボタン

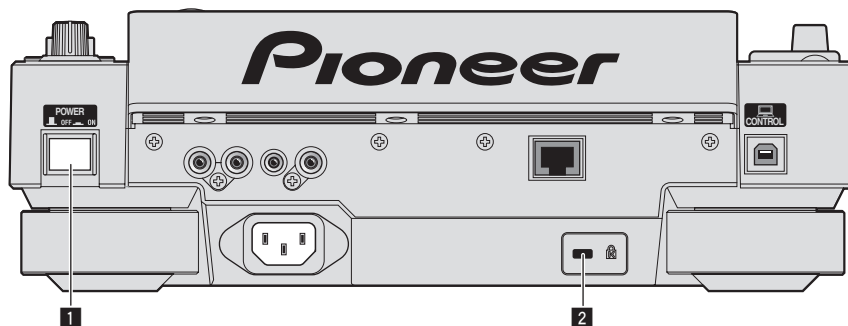
キューポイントまたはループポイントを消去します。
☞ 「ポイントを個別に消去する」(p.27)

41 MEMORY ボタン

キューポイントまたはループポイントを保存します。
☞ 「キューポイントまたはループポイントを保存する」(p.27)

- 42 JOG MODE ボタン、VINYL モードインジケーター、CDJ
モードインジケーター**
押すたびにVINYLモードとCDJモードを切り換えます。選んでいるモードのインジケーターが点灯します。
⇒ 「ジョグダイヤルのモードを切り換える」(p.24)
- 43 JOG ADJUST ツマミ**
ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整します。
⇒ 「ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整する」(p.24)
- 44 BEAT SYNC MASTER ボタン**
本機にロードされたトラックをビートシンク機能でのマスターにします。
⇒ 「ビートシンクを使う」(p.29)
- 45 BEAT SYNC ボタン**
ビートシンク機能をオンします。
⇒ 「ビートシンクを使う」(p.29)
- 46 TEMPO $\pm 6/\pm 10/\pm 16$ /WIDE ボタン**
再生速度の調整範囲を切り換えます。
⇒ 「再生速度を調整する(テンポコントロール)」(p.23)
- 47 MASTER TEMPO ボタン**
マスターテンポをオン/オフします。
⇒ 「音程を変えずに再生速度を調整する(マスターテンポ)」(p.24)
- 48 TEMPO スライダー**
トラックの再生速度を調整します。
⇒ 「再生速度を調整する(テンポコントロール)」(p.23)
- 49 TEMPO RESET ボタン、TEMPO RESET インジケーター**
TEMPO スライダーの位置に関係なく、ディスクなどに記録されている元々の再生速度でトラックを再生します。TEMPO RESET をオンにするとインジケーターが点灯します。
- 50 ジョグダイヤル (-REV/+FWD)、JOG RING
ILLUMINATION**
スクラッチやピッチベンドなどの操作ができます。
⇒ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.24)
- 51 ジョグダイヤル表示部**
⇒ 「ジョグダイヤル表示部」(p.20)

本体背面部

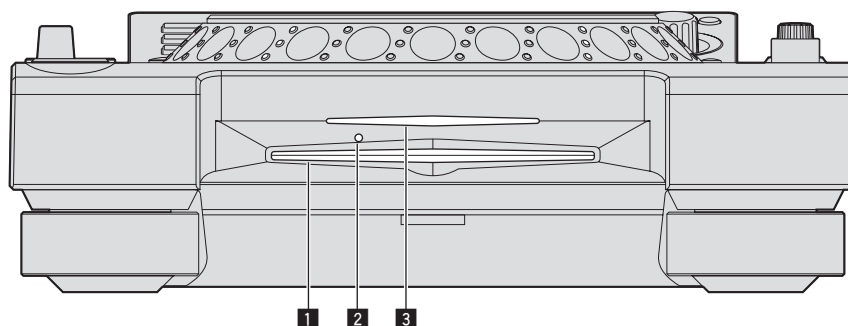


接続に使用する端子については、11ページの「各端子の説明」をご覧ください。

1 POWER ON/OFF ボタン
電源をオンまたはオフします。

2 ケンジントンロック装着用穴

本体前面部



1 ディスク挿入口

2 ディスク強制取り出しピン挿入穴

3 ディスク挿入口インジケータ

ディスクの強制取り出しについて

- ・ [DISC EJECT▲] ボタンを押してもディスクを取り出せないときは、本体前面のディスク強制取り出しピン挿入穴にディスク強制取り出しピンを押し込むことにより、ディスクを強制的に取り出せます。
- ・ ディスクを強制的に取り出すときは、下記の事項を厳守してください。

1 [POWER ON/OFF] ボタンを押して本機の電源をオフにし、1分以上待つ

電源を切つてすぐに強制取り出しを行うと、次のような危険を伴いますので絶対に行わないでください。
ディスクが回転したまま本体から排出されるため、指などに当たりケガをする危険があります。
ディスクのクランプが不安定な状態で回転するためディスクに傷がつかます。

2 付属のディスク強制取り出しピンを使う（他のものは使わないでください）

付属のディスク強制取り出しピンは本機底面にはめ込んであります。ピンを挿入穴に根元まで押し込むと、ディスクがディスク挿入口から5 mm～10 mmほど排出されますので、指でつまんで引き抜いてください。

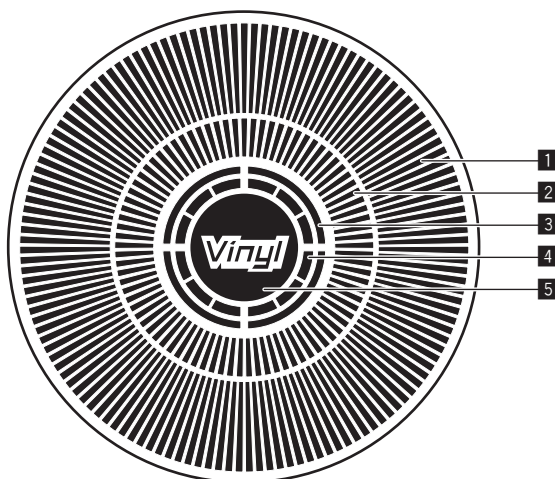
本体表示部

通常再生画面



- 1 CUE**
設定しているキューポイント、ループポイント、およびホットキューの位置をマークで表示します。
- 2 MEMORY**
記録メディア (SD, USB) に記録されているキューポイント、ループポイント、およびホットキューをマークで表示します。
- 3 A. CUE**
オートキューを設定しているとき点灯します。
⇒ 「オートキューを設定する」(p.25)
- 4 PLAYER**
本機に割り当てられたプレーヤー番号 (1 ~ 4) を表示します。
- 5 TRACK**
トラック番号 (01 ~ 99) を表示します。
- 6 REMAIN**
時間表示を残り時間表示に設定しているとき点灯します。
- 7 情報表示部**
rekordbox で解析した拡大波形などを表示します。
- 8 曲名**
- 9 PHASE METER**
ビートシンク機能でマスタープレーヤーとの小節や拍のずれ量を表示します。
- 10 BEAT COUNTDOWN**
現在再生位置から一番近い保存されたキューポイントまでの小節数、拍数を表示します。
- 11 KEY**
楽曲のKEY (音階) を表示します。
- 12 ZOOM モード、GRID ADJUST モード表示**
ロータリーセレクターを 1 秒以上押しすと、[ZOOM] モードと [GRID ADJUST] モードが切り換わります。
 - [ZOOM] モード：ロータリーセレクターを回すと波形を 5 段階で拡大 / 縮小できます。
 - [GRID ADJUST] モード：ロータリーセレクターを回すとビートグリッドを調整できます。[MENU/UTILITY] ボタンを使ってビートグリッドを調整できます。
 - [reset]：調整したビートグリッドをリセットします。
 - [snap grid (CUE)]：現在設定されているキューの場所に 1 拍目を移動します。
 - [SHIFT GRID]：同期中に調整した結果 (ピッチベンドなど) をビートグリッドに反映します。
- 13 NEEDLE**
ニードルサーチできるとき点灯します。
- 14 時間表示 (分、秒、フレーム)**
75 フレームで 1 秒です。
- 15 QUANTIZE**
[QUANTIZE] をオンに設定しているときに表示されます。
- 16 MT**
マスターテンポを設定しているとき点灯します。
⇒ 「音程を変えずに再生速度を調整する (マスターテンポ)」(p.24)
- 17 BPM**
再生しているトラックのBPM (=Beats Per Minute。1 分間の拍数) を表示します。
 - 本機で測定した BPM 値が CD の記載値、または当社の DJ ミキサーなどと異なることがあります。これは BPM の測定方法などが違うためであり故障ではありません。
- 18 再生速度表示**
[TEMPO] スライダーの位置に従って、数値が変化します。
- 19 再生速度可変範囲表示**
メディアに記録されている元々の再生速度に対して、再生速度を調整できる範囲を表示します。
- 20 WAVE 表示**
WAVE またはガイドなどを表示します。
- 21 プレーイングアドレス表示 / 目盛表示 (1 分間隔)**
トラック (1 曲) を棒グラフで表示します。現在の再生位置を白色の縦線で表示します。経過時間を表示するときはグラフの左端から点灯します。残り時間を表示するときは左端から消灯します。トラックの残り時間が 30 秒以下になるとグラフ全体がゆっくり点滅し、15 秒以下になると早く点滅します。
- 22 キャッシュメーター**
現在再生中の曲が、曲のどの部分までメモリー上にキャッシュされているかを表します。

ジョグダイヤル表示部



1 動作表示

1周 135 フレームとして再生位置を表示します。再生中は回転し一時停止中は停止します。

2 キューポイント表示 / スリップ再生表示

3 音声メモリー状態表示

音声メモリー書き込み中に点滅します。書き込みが完了すると点灯します。

音声メモリーを書き込み中は、リアルタイムキューの操作ができないことがあります。

スクラッチプレイによってメモリーが不足したときも点滅します。

4 ジョグタッチ検出表示

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤル天面を押すと点灯します。

5 VINYL

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき点灯します。

☉ 「ジョグダイヤルを操作する」(p.24)

操作する（基本編）

電源の入れかた

- 1 各接続を行い、コンセントに電源コードを挿す
☞ 「接続する」(p.11)
- 2 [POWER ON/OFF] ボタンを押す
本機のインジケータ類が点灯し、電源がオンになります。

電源の切りかた

[POWER ON/OFF] ボタンを押す

本機の電源がオフになります。

- SDメモリーカードインジケータ点滅中にSDメモリーカードを引き抜いたり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、SDメモリーカードが読み込めなくなることがあります。
- USBインジケータが点灯中または点滅中にUSBデバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USBデバイスが読み込めなくなることがあります。

ディスクの入れかたと出しかた

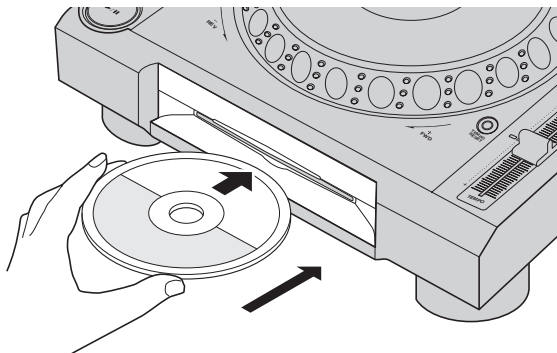
- 本機は1枚型のプレーヤーです。複数のディスクは挿入できません。
- 本機の電源がオフのとき、本機のディスク挿入口に無理にディスクを入れないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。
- 本機がディスクを引き込もうとしているとき、または排出しようとしているときに、その動きに逆らうような力をディスクに加えないでください。ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

ディスクの入れかた

- 1 [POWER ON/OFF] ボタンを押して、本機の電源を入れる
- 2 印刷面を上にして、ディスクを水平にディスク挿入口に入れる

メディアの読み込みが終了すると、再生を開始します。

- 音楽ファイルが階層構造で記録されているディスクをセットしたときは、一番上の階層に入っているトラックから再生します。



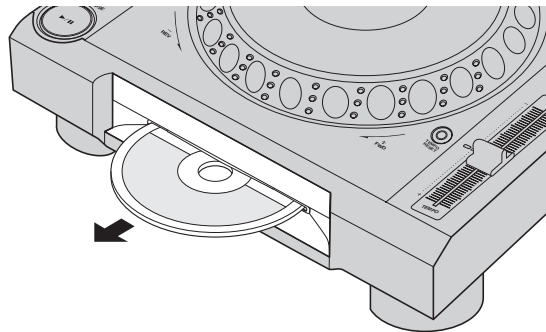
- オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
☞ オートキューについては、25ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。
- 以前に本機またはパイオニア製DJプレーヤーにセットした記録メディア (SD, USB) がセットされているときは、ディスクを挿入す

ると、ディスク情報を記録しているディスク枚数が本体表示部に数秒間表示されます。

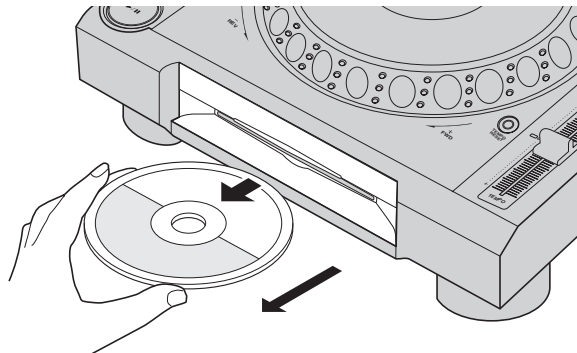
- ☞ ディスク情報の記憶については、27ページの「呼び出し手順 (ディスク)」をご覧ください。

ディスクの出しかた

- 1 [DISC EJECT▲] ボタンを押してディスクを取り出す
ディスク挿入口からディスクが排出されます。



- 2 ディスクの信号面に傷をつけないように引き抜く



- 誤って [DISC EJECT▲] ボタンが押された場合は、すぐに [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、排出を中止して直前の状態に復帰します (復帰処理中は、音声が出力されません)。
- [UTILITY] メニューの [EJECT/LOAD LOCK] が [LOCK] に設定されているときは、再生中にディスクを取り出すことができません。[EJECT/LOAD LOCK] を [UNLOCK] に設定するか、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して一時停止してから [DISC EJECT▲] ボタンを押してください。

❖ レジューム機能について

再生しながらディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置から再生を始めます。一時停止中にディスクを抜いた場合は、また同じディスクを挿入すると抜いた時点の再生位置で一時停止します。これらは本機の電源がOFFされるか、違うディスクがセットされるまで記憶されます。

- 記録メディア (SD, USB) ではこの機能は使えません。

SDメモリーカードの入れかたと出しかた

- SDメモリーカード挿入口には、SDメモリーカード以外の物を挿入しないでください。コインなど金属物を挿入すると、内部回路が破損し故障の原因になります。
- SDメモリーカードを無理やり出し入れしないでください。SDメモリーカードの破損および本機の故障の原因になります。

SDメモリーカードの入れかた

- [POWER ON/OFF] ボタンを押して、本機の電源を入れる
- SDメモリーカードドアを開ける
- SDメモリーカードを差し込む
SDメモリーカードは裏面を手前に、切り欠きを下にして、垂直にゆっくりと、止まるまで差し込みます。
- SDメモリーカードドアを閉める

SDメモリーカードの出しかた

- SDメモリーカードドアを開ける
SDメモリーカードインジケーターが数秒間点滅したあと、消灯します。
 - SDメモリーカードインジケーター点滅中にSDメモリーカードを引き抜いたり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、SDメモリーカードが読み込めなくなることがあります。
- SDメモリーカードを一度押し込んで戻ってきたあと、垂直に引き抜く
- SDメモリーカードドアを閉める

USBデバイスの付けかたと外しかた

USBデバイスの接続のしかた

- [POWER ON/OFF] ボタンを押して、本機の電源を入れる
- USBデバイス挿入口にUSBデバイスを接続する

USBデバイスの外しかた

- USBインジケーターが消灯するまで [USB STOP] ボタンを押す
USBインジケーターが点灯中または点滅中にUSBデバイスを取り外したり、本機の電源をオフしないでください。本機の管理データが消去されることがあります。また、USBデバイスが読み込めなくなることがあります。
- USBデバイスを引き抜く

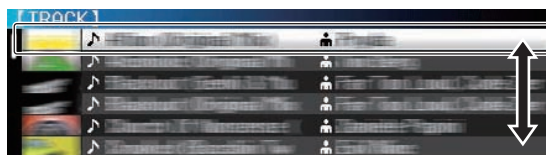
再生する

- ここでは基本的な選曲操作と画面の切り換えかたを説明します。
- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.23)
 - 「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.23)

本機にセットされたメディアを再生する

- メディアを本機にセットする
 - 「ディスクの入れかた」(p.21)
 - 「SDメモリーカードの入れかた」(p.22)
 - 「USBデバイスの接続のしかた」(p.22)
- メディアボタン ([DISC]、[SD]、[USB] のいずれか) を押す
トラックやフォルダがリストになって表示されます。本体表示部に表示するメディアの中身を切り換えることができます。
[DISC] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。
[SD] ボタン：挿入されているSDメモリーカードの中身を表示します。
[USB] ボタン：接続されているUSBデバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。
 - [LINK] ボタンについて、詳しくは23ページの「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」を参照してください。
 - [rekordbox] ボタンについて、詳しくは23ページの「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

- ロータリーセレクターを回す
カーソルを動かして項目を選択します。



- フォルダの下位階層に進むときはロータリーセレクターを押します。上位階層に戻るときは [BACK] ボタンを押します。
 - [BACK] ボタンを1秒以上押す、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
 - [TRACK SEARCH ◀▶] ボタンを使っても、再生しているトラックが含まれているカテゴリ/フォルダ内のトラックを選べます。
- トラックを選んでロータリーセレクターを押す
トラックがロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。
 - 通常再生画面については、19ページの「本体表示部」をご覧ください。
- [UTILITY] メニューの [EJECT/LOAD LOCK] が [LOCK] に設定されているときは、再生中に新たなトラックのロードはできません。[EJECT/LOAD LOCK] を [UNLOCK] に設定するか、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して一時停止してからトラックをロードしてください。
 - 一時停止してからトラックをロードした場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
 - オートキューをオンに設定しているときは、音声開始位置で一時停止状態になります。その場合、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生が始まります。
 - オートキューについては、25ページの「オートキューを設定する」をご覧ください。

他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する

PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を本機の画面に表示します。

- 他のプレーヤーに挿入されているディスクの情報はブラウズできません。

1 記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを PRO DJ LINK 接続中の他プレーヤーにセットする

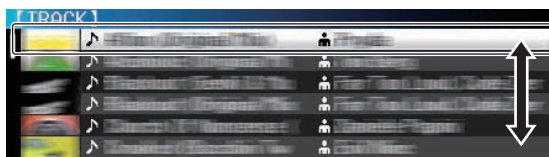
2 [LINK] ボタンを押す

他プレーヤーに挿入されている記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスのトラックやフォルダが表示されます。

- 複数のメディアが接続されている場合は、メディアの選択画面が表示されます。
- 記録メディア (SD, USB) 内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。
 - ➔ rekordbox のライブラリブラウズについて、詳しくは 23 ページの「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」を参照してください。

3 ロータリーセクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。



4 トラックを選んでロータリーセクターを押す

トラックをロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- ➔ 通常再生画面については、19 ページの「本体表示部」をご覧ください。

❖ rekordbox のライブラリが書き込まれていた場合

本機または PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに挿入されている SD メモリーカードおよび USB デバイス内に rekordbox のライブラリ情報が書き込まれていた場合は、rekordbox のライブラリを表示します。

- 音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。
- カテゴリーメニューの項目の種類は、rekordbox のプリファレンス (環境設定) で変更できます。

コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する

音楽ファイルを rekordbox で設定したカテゴリー (アルバム、アーティストなど) で表示します。

1 [rekordbox] ボタンを押す

rekordbox のライブラリが本機の本体表示部に表示されます。

- 無線 LAN (Wi-Fi) 接続の場合、接続時に本機の本体表示部に [接続を許可する場合は、ロータリーセクターを押してください。] が表示されたら、ロータリーセクターを押すと接続できます。
- USB 接続したモバイルデバイスを選ぶときは [USB] ボタンを押してください。また PRO DJ LINK 接続されている他プレーヤーに接続したモバイルデバイスを選ぶときは [LINK] ボタンを押してください。

2 ロータリーセクターを回す

カーソルを動かして項目を選択します。

3 トラックを選んでロータリーセクターを押す

トラックをロードすると画面は通常再生画面に切り換わります。トラックがロードされて再生が始まり、対応したメディアボタンが点滅します。

- ➔ 通常再生画面については、19 ページの「本体表示部」をご覧ください。

ロード・プリビュース・トラック

過去再生された最新 5 曲の曲名を表示して選曲できます。

1 通常再生画面を表示する

2 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

3 ロータリーセクターを回して曲を選び、ロータリーセクターを押して再生を決定する

- [MENU]、[BACK] ボタンで曲名表示が消えます。

一時停止する

再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンと [CUE] ボタンが点滅します。もう一度 [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと再生を再開します。

- ディスクからトラックをロード中の場合、一時停止したまま 100 分間以上操作しないと、自動的にディスクの回転を停止します。

早送り / 早戻しする

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押し続けている間、早送り / 早戻しします。

- カテゴリー / フォルダを飛び越えて早送り / 早戻しはできません。

頭出しする (トラックサーチ)

[TRACK SEARCH I◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[▶▶] を押すと次のトラックの先頭に進みます。[◀◀] を押すと再生中のトラックの先頭に戻ります。2 回続けて押すと 1 つ前のトラックの先頭に戻ります。

- カテゴリー / フォルダを飛び越えて頭出しはできません。

再生速度を調整する (テンポコントロール)

[TEMPO ±6/±10/±16/WIDE] ボタンを押す

押すたびに [TEMPO] スライダーの可変範囲が切り換わります。可変範囲の設定値が本体表示部に表示されます。

設定値	調整単位
±6	0.02 %
±10	0.05 %
±16	0.05 %
WIDE	0.5 %

[WIDE] の調整範囲は ± 100 % です。- 100 % に設定すると再生が停止します。

- 電源をオンしたときは ± 10 % に設定されます。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[+] (手前) 側に動かすと再生速度が速くなり、[-] (奥) 側に動かすと再生速度が遅くなります。再生速度を変化させている割合が再生速度表示に表示されます。

音程を変えずに再生速度を調整する（マスターテンポ）

[MASTER TEMPO] ボタンを押す

[MASTER TEMPO] ボタンと本体表示部の [MT] が点灯します。

[TEMPO] スライダーを前後に動かす

[TEMPO] スライダーで再生速度を変えても音程は変わりません。

- 音声をデジタル加工するため音質が悪くなります。

逆再生する

- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

[DIRECTION FWD/REV] レバーを [REV] 側に倒す

[REV] インジケーターが点灯し、逆方向に再生します。

- 音楽ファイルがフォルダ構造で記録されているときは、同じカテゴリー / フォルダに入っているトラックだけ逆再生できます。また、逆再生がすぐに始まらないことがあります。
- ジョグダイヤルの回転方向に応じた演奏の加・減速が逆向きになります。
- 逆再生中に、頭出し（トラックサーチ）やループ再生などの操作をすると、ジョグダイヤル表示部の音声メモリー状態表示が点滅してスクラッチプレイができないことがあります。

ジョグダイヤルを操作する

- ジョグダイヤルの天面にはスイッチが内蔵されています。物を載せたり、強い力を加えないでください。
- 飲料水などの液体が製品内部に入ると故障の原因になります。

ジョグダイヤルのモードを切り換える

[JOG MODE] ボタンを押す

ボタンを押すたびに VINYL モードと CDJ モードが切り換わります。

- VINYL モード：再生中にジョグダイヤルの天面を押すと再生を停止し、そのまま回すと回転に応じた音声が出ます。
- CDJ モード：ジョグダイヤルの天面を押しても再生は停止しません。またスクラッチなどの操作ができません。

ピッチベンド

再生中にジョグダイヤルの天面を触らずに外周部分を回す

時計回りに回すと再生速度が加速します。反時計回りに回すと再生速度が減速します。回転を止めると、通常の再生速度に戻ります。

- ジョグモードを CDJ モードに設定しているときは、ジョグダイヤルの天面を回しても同じ操作ができます。

ジョグダイヤルを回すときの負荷を調整する

[JOG ADJUST] ツマミを回す

右に回すほど負荷が重くなり、左に回すほど負荷が軽くなります。

スクラッチ

ジョグモードを VINYL モードに設定しているとき、ジョグダイヤルの天面を押しながら回すことによってジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じた再生ができます。

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

再生が減速してから停止します。

3 ジョグダイヤルを再生したい方向と速度で回す

ジョグダイヤルの回転方向と回転速度に応じて音声再生されます。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

通常の再生に戻ります。

フレームサーチ

一時停止中にジョグダイヤルを回す

0.5 フレーム単位で一時停止位置を移動できます。

- 時計回りで再生方向、反時計回りで逆方向に移動します。ジョグダイヤルを 1 回転すると 135 フレーム移動します。

スーパー・ファースト・サーチ

[SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速で早送り / 早戻しします。

- [SEARCH ◀▶] ボタンから指を放すと、この機能は解除されます。
- ジョグダイヤルの回転を止めると、通常の再生を再開します。
- ジョグダイヤルの回転速度に応じて早送り / 早戻し速度を調節できます。

スーパー・ファースト・トラックサーチ

[TRACK SEARCH ◀▶] ボタンを押しながらジョグダイヤルを回す

ジョグダイヤルを回す方向に高速でトラックを送ります。

再生と停止の速度を調整する

再生が停止するまでの速度を調整する

ジョグダイヤルの天面を押して再生が停止する速度と、[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して再生が停止する速度を変更できません。

- この機能はジョグモードが VINYL モードに設定されているときに有効になります。

[VINYL SPEED ADJUST TOUCH/BRAKE] ツマミを回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。

通常の再生に戻るまでの速度を調整する

ジョグダイヤルの天面から手を放して通常の再生に戻るまでの速度、一時停止中に [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して通常の再生に戻るまでの速度を変更できます。

- この機能はジョグモードが VINYL モードに設定されているときに有効になります。

[VINYL SPEED ADJUST RELEASE/START] ツマミを回す

右に回すほど速度が遅くなり、左に回すほど速度が速くなります。

操作する (応用編)

キューを設定する

1 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

再生を一時停止します。

2 [CUE] ボタンを押す

一時停止していた位置が、キューポイントに設定されます。

[PLAY/PAUSE▶/II] インジケータが点滅し、[CUE] インジケータが点灯します。このとき音声は出力されません。

- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントの位置を修正する

1 キューポイントで一時停止中に [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

[PLAY/PAUSE▶/II] インジケータと [CUE] インジケータが点滅します。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でキューポイントを微調整できます。

- ジョグダイヤルを使って同じ操作ができます。

3 [CUE] ボタンを押す

ボタンを押した位置が新しいキューポイントに設定されます。

- 新しいキューポイントを設定すると、以前に設定したキューポイントは解除されます。

キューポイントに戻る (バックキュー)

再生中に [CUE] ボタンを押す

設定されているキューポイントに瞬時に戻り、頭出しされて一時停止状態になります。

- [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、キューポイントから再生が始まります。

キューポイントを確認する (キューポイントサンプラー)

キューポイントに戻ったあとに [CUE] ボタンを押し続ける設定されているキューポイントから再生が始まります。[CUE] ボタンを押し続けている間、再生を続けます。

- キューサンプラー中に [PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押すと、[CUE] ボタンから指を放してもそのまま続けて再生します。

再生しながらキューポイントを設定する (リアルタイムキュー)

再生中にキューポイントに設定したい位置で [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ボタンを押した位置がキューポイントに設定されます。

オートキューを設定する

トラックをロードしたとき、または頭出し (トラックサーチ) したとき、トラック先頭の無音部分を飛ばして音声が始まる直前に自動でキューポイントを設定します。

[TIME MODE/AUTO CUE] ボタンを 1 秒以上押す

[A. CUE] が点灯します。

- [TIME MODE (AUTO CUE)] をふたたび 1 秒以上押すと、オートキューがオフに設定されます。
- 電源をオフにしてもオートキューの設定は記憶されます。

ループを設定する

指定した区間を繰り返し再生できます。

- 音楽 CD (CD-DA) に収録されているトラックのみ、トラックをまたいだループ再生区間を設定することができます。
- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。(リループ、オートビートループのみ)

1 再生中にループ再生を始めたい位置 (ループインポイント) で [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ループインポイントが設定されます。

- あらかじめ設定されているキューポイントをループインポイントにするときは、この操作は必要ありません。

2 ループ再生を終わりたい位置 (ループアウトポイント) で [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループアウトポイントが設定され、ループ再生を始めます。

ループインポイントを微調整する (ループインアジャスト)

1 ループ再生中に [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

[IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンが消灯します。

本体表示部にループインポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でループインポイントを微調整できます。

- ジョグダイヤルを使って同じ操作ができます。
- ループインポイントの調整可能範囲は± 30 フレームです。
- ループインポイントはループアウトポイントより後ろに設定することはできません。

3 [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生に戻ります。

- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループアウトポイントを微調整する (ループアウトアジャスト)

1 ループ再生中に [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

[LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンが速い点滅に変わり、[IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンが消灯します。

本体表示部にループアウトポイントの時間が表示されます。

2 [SEARCH ◀◀, ▶▶] ボタンを押す

0.5 フレーム単位でループアウトポイントを調整できます。

- ジョグダイヤルを使って同じ操作ができます。
- ループアウトポイントはループインポイントより手前に設定することはできません。

3 [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生に戻ります。

- 10 秒以上何も操作しないときも通常のループ再生に戻ります。

ループ再生を解除する (ループイグジット)

ループ再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループアウトポイントになってもループインポイントには戻らず再生を続けます。

ループ再生に戻る (リループ)

ループ再生を解除したあと、再生中に [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

前回設定したループインポイントに戻りループ再生を再開します。

自動的にループを設定する (4 ビートループ)

再生中に [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押す再生しているトラックの BPM に合わせて、押した位置から 4 拍のループが自動で設定され、ループ再生を始めます。

- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

ループを分割する (ループカッター)

ループ再生中に [CUE/LOOPCALL◀ (LOOP 1/2X)] ボタンを押す

ボタンを押すたびにループ再生の長さが半分に分割されます。

ループを延長する (ループダブル)

ループ再生中に [CUE/LOOPCALL▶ (LOOP 2X)] ボタンを押す

ボタンを押すたびにループ再生の長さが倍に延長されます。

曲のテンポをもとに自動的にループを設定する (オートビートループ)

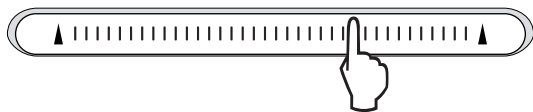
指定した拍数でループが設定されて、ループ再生が始まります。

1 再生中に [LOOP MODE] ボタンを押す

本体表示部に拍数選択画面が表示されます。

- 拍数選択画面は、ループを設定した時やスリップ機能をオンにした時にも表示されます。

2 設定したい拍数に応じた位置を [NEEDLE SEARCH] パッドで触れる



触れた位置の拍数の下にあるマーカーが赤く点灯し、選択した拍数でループ再生が始まります。

3 [LOOP MODE] ボタンを押す

拍数選択画面が解除されます。

- 拍数選択画面表示中に、もう一度 [LOOP MODE] ボタンを押すと、拍数選択画面が解除されます。
- 拍数選択画面は、トラックをロードしたときにも解除されます。
- 楽曲解析を済ませていないトラックを再生しているときは、再生しているトラックの BPM に合わせてループが設定されます。
- トラックの BPM が検知できないときは、BPM は 130 に設定されます。

アクティブループを使う

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 rekordbox でアクティブループを設定したトラックをロードする

rekordbox で保存されたループの 1 つをアクティブループとして設定できます。

設定したアクティブループポイントは波形表示に以下のように表示されます。



再生位置が設定ポイントを通過すると自動でループが設定され、ループ再生が始めます。

エマージェンシーループ

本機は曲が再生し続けられなくなった場合、音切れを防ぐために自動で 4 ビートループを設定します。

- エマージェンシーループ中は DJ プレイが制限されます。エマージェンシーループを解除するには、次の曲をロードしてください。

ホットキューを設定する

ホットキューを設定しておく、ポイントと呼び出して瞬時にそのポイントから再生が始まります。設定できるホットキューは、1 つの音楽トラックにつき最大 3 個です。

- クオンタイズ機能をオンにしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを押す

ホットキューの記録モードに切り換わります。[HOT CUE] (A, B, C) ボタンが赤色に点灯します。

3 再生中または一時停止中にホットキューに設定したい位置で [HOT CUE] (A, B, C) のいずれかを押す

ボタンを押した位置がホットキューに設定され、[HOT CUE] (A, B, C, REC/CALL) ボタンが点滅します。

- ループ再生中の場合は、ループがホットキューとして登録されません。

ホットキューには再生方向は記録されません。

記録中は、他のホットキューへの記録、キューポイントの設定、早送り / 早戻し、およびスクラッチプレイはできません。

- 記録メディア (SD, USB) が本機にセットされているときは、ポイント情報が自動的に記録されます。
- スクラッチプレイ中にホットキューを設定すると、再生が一旦停止することがあります。

ホットキューを再生する

1 [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを押す

ホットキューの再生モードに切り換わります。

ボタンの点灯色	ホットキューに記憶されている内容
緑	キューポイント
オレンジ	ループ
無点灯	何も記憶されていない。

2 再生中または一時停止中に [HOT CUE] (A, B, C) のいずれかを押す

そのボタンに記録されているホットキューを呼び出して再生を始めます。

- [HOT CUE] ボタンに記録されたループ再生は、[IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンと [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを使って設定したループ再生とは別の情報です。
- [HOT CUE] ボタンに記録されたループを呼び出したあと、[RELOOP/EXIT] ボタンを使ってループ再生を解除したり、[LOOP IN (IN ADJUST)] ボタンを使ってループインポイントや [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを使ってループアウトポイント

を微調整できます。調整は [HOT CUE] (A, B, C) ボタンに記録されている情報を直接変更します。

ホットキューを呼び出す

❖ 呼び出し手順 (ディスク)

記録メディア (SD, USB) を使ったホットキューの呼び出し操作は、あらかじめディスクのホットキューを記録メディア (SD, USB) を使用して記憶させておく必要があります。

1 ディスクのホットキューが記憶された記録メディア (SD, USB) をセットする

2 ディスクを本機にセットする

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている [HOT CUE] (A, B, C) ボタンが点滅します。

3 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE] (A, B, C) ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE] (A, B, C) ボタンが緑色またはオレンジ色に点灯します。

- ホットキューを呼び出さなかつたときは、[HOT CUE] (A, B, C) ボタンを押さないまま [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかつたボタンは消灯します。
- ディスク以外のメディアに記録されているトラックを再生しているときは、ホットキューが記録されているディスクを本機にセットしてもホットキューは呼び出されません。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、一旦記録メディア (SD, USB) を取り外してから、ふたたび記録メディア (SD, USB) をセットします。

❖ 呼び出し手順 (記録メディア (SD, USB))

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 ホットキューを呼び出したいトラックをロードする

3 [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを 1 秒以上押す

ホットキューの呼び出しモードに切り換わり、ホットキューが記録されている HOT CUE (A, B, C) ボタンが点滅します。

4 ホットキューを呼び出したい [HOT CUE] (A, B, C) ボタンを押す

ホットキューが呼び出され、[HOT CUE] (A, B, C) ボタンが緑色またはオレンジ色に点灯します。

- ホットキューを呼び出さなかつたときは、[HOT CUE] (A, B, C) ボタンを押さないまま [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを押します。ホットキューが呼び出されなかつたボタンは消灯します。
- ホットキューの呼び出しモードを誤って解除してしまったときは、もう一度 [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを 1 秒以上押します。
- トラックロード時に自動でホットキューを呼び出すように rekordbox であらかじめ設定することもできます。
- ホットキューの自動ロードが設定されているトラックはトラック

リスト内で  が表示されます。

❖ ホットキューの呼び出しモードを解除する

ホットキューの呼び出しモードを解除するには、以下のいずれかの操作をします。

ディスクからトラックをロード中の場合、再生するトラックを変更してもホットキューの呼び出しモードは解除されません。

1 ホットキュー A, B, C をすべて呼び出す

2 [HOT CUE] (REC/CALL) ボタンを押す




3 記録メディア (SD, USB) で再生するトラックを変更する

キューポイントまたはループポイントを保存する

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを設定する

3 [MEMORY] ボタンを押す

本体表示部に  MEMORY または  MEMORY が数秒間表示され、記録メディア (SD, USB) にポイント情報が記録されます。記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に  で表示されます。




- ディスクに記録されているトラックを再生している場合、SD メモリーカードと USB デバイスの両方が本機にセットされているときは、SD メモリーカードに優先してポイント情報が記録されます。記録するメディアは、[MENU] ボタンで選ぶこともできます。また、PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーにセットされているメディアを選ぶこともできます。
- ループポイントを保存するときは、ループ再生中に [MEMORY] ボタンを押します。保存したループポイントがプレーイングアドレス表示に表示されます。

保存されているキューポイントまたはループポイントを呼び出す

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを呼び出したいトラックをロードする

記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に  で表示されます。

3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押す

現在の再生位置よりも手前のポイントを呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] を押します。後ろのポイントを呼び出したい場合は、[CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] を押します。呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイントを呼び出します。
- アクティブループとして設定されているループも保存されたループとして呼び出せます。

4 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す


呼び出したポイントから再生またはループ再生を始めます。

保存されたキューポイントまたはループポイントを消去する

ポイントを個別に消去する

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 キューポイントまたはループポイントを消去したいトラックをロードする


記憶されたキューポイントまたはループポイントは波形表示の上部に  で表示されます。

3 [CUE/LOOP CALL ◀(LOOP 1/2X)] ボタンまたは [CUE/LOOP CALL ▶(LOOP 2X)] ボタンを押して、消去したいポイントを呼び出す

呼び出したポイントで頭出しされて一時停止状態になります。

- 複数のポイントが記録されているときは、ボタンを押すたびに他のポイントを呼び出します。

4 [DELETE] ボタンを押す

本体表示部に [ DELETE] または [ DELETE] と表示され、選んだポイント情報が消去されます。

- アクティブループとして設定されている保存されたループを消去した場合、アクティブループも消去されます。

ポイントをディスク単位で消去する

1 ディスクを本機にセットする

ディスク以外のメディアからトラックがロードされている場合は、ディスクに収録されているいずれかのトラックをロードします。

2 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

キューポイントまたはループインポイントを、プレーイングアドレス表示にマークで表示します。

3 [DELETE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE? PUSH MEMORY] と表示されます。

4 [MEMORY] ボタンを押す

本機にセットされているディスクに関するキューポイントまたはループポイントが消去されます。

- [MEMORY] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

記録メディア (SD, USB) に記録されているディスクの情報をすべて消去する

ディスク情報が記憶された記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

1 本機にディスクをセットしていない状態で、[DELETE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に [DISC CUE/LOOP DATA-DELETE ALL? PUSH MEMORY] と表示されます。

2 [MEMORY] ボタンを押す

記録メディア (SD, USB) に記録されているディスクの情報がすべて消去されます。

- [MEMORY] ボタン以外のボタンを押すと消去モードが解除されます。

オートキューのキューポイントを設定する

オートキューとして設定されるキューポイントを以下の方法から選ぶことができます。

無音部として認識する音圧レベルによる設定 (8 段階)

- 36 dB, - 42 dB, - 48 dB, - 54 dB, - 60 dB, - 66 dB, - 72 dB, - 78 dB

保存されたキューを自動でキューポイントにする設定

MEMORY : 曲の始めに最も近い保存されたキューポイントがオートキューのキューポイントに設定されます。

- [MEMORY] を設定した場合は本体表示部の [A. CUE] が白色で点灯します。

オートキューのキューポイントの設定は、以下の方法で変更できます。

[MENU (UTILITY)] を使うとき

1 [MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ローターセレクターを回してから押す

[AUTO CUE LEVEL] を選びます。

3 ローターセレクターを回してから押す

音圧レベルの値、または [MEMORY] を選びます。

[TIME MODE (AUTO CUE)] を使うとき

1 [TIME MODE/AUTO CUE] ボタンを 5 秒以上押す

本体表示部に現在の設定値が表示されます。

2 [CUE/LOOP CALL ◀ (LOOP 1/2X)] ボタンまたは

[CUE/LOOP CALL ▶ (LOOP 2X)] ボタンを押す

音圧レベルの値、または [MEMORY] を選びます。

スリップを使う

スリップをオンすると一時停止中 (VINYL モード中)、スクラッチプレイ中、ループ再生中、ホットキュープレイ中、または逆再生中にバックグラウンドで元のリズムを保ったまま通常の再生を続けます。スリップ動作を解除すると、解除するまでに経過した位置から通常の再生を再開します。

- クオンタイズ機能をオンしているときは拍に合わせるために、機能の動作に若干の遅れが生じることがあります。
(スリップビートループ、スリップリバース、スリップホットキューのみ)

バックグラウンドでの再生位置の表示



- スリップモード中は、現在再生位置は本体表示部の波形表示 (全体波形、拡大波形) に黄色の線で表示されます。バックグラウンドでの再生位置は本体表示部の波形表示 (全体波形) に白色の線で表示されます。
- また、ジョグダイヤルのスリップ再生表示にも表示されます。

スリップポーズ

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中に [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押す

一時停止中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

4 [PLAY/PAUSE ▶/II] ボタンを押して一時停止を解除する

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリップスクラッチプレイ

1 [JOG MODE] ボタンを押す

ジョグモードを VINYL モードに設定します。

2 [SLIP] ボタンを押す

スリップモードに切り換えます。

3 再生中にジョグダイヤルの天面を押す

スクラッチプレイします。スクラッチプレイ中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

4 ジョグダイヤルの天面から手を放す

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリッパループ

1 [SLIP] ボタンを押す

スリッパモードに切り換えます。

2 [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを押してから [LOOP OUT (OUT ADJUST)] ボタンを押す

ループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- 8 秒以上のループは設定できません。
- [IN/4BEAT (IN ADJUST)] ボタンを 1 秒以上押し続けてループを設定した場合も同じ動作をします。

3 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

ループが解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリッパビートループ

1 [SLIP] ボタンを押す

スリッパモードに切り換えます。

2 [NEEDLE SEARCH] パッドで選んだ拍を押し続ける

自動的にループが設定されてループ再生を始めます。

ループ再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- 拍選択画面は、スリッパ機能をオンにした時に表示されます。
- [NEEDLE SEARCH] パッドから指を放さずに指をスライドさせて別の拍を選ぶこともできます。

3 [NEEDLE SEARCH] パッドから指を放す

バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

4 [RELOOP/EXIT] ボタンを押す

最後に設定したループが再生され、スリッパループになります。

- [NEEDLE SEARCH] パッドから指を放さずに別の拍を選んだあと、スリッパビートループを解除した場合、[RELOOP/EXIT] ボタンで呼び出されるループは最初 (再生中) に設定したループになります。

スリッパリバース

1 [SLIP] ボタンを押す

スリッパモードに切り換えます。

2 再生中に [DIRECTION FWD REV] レバーを REV 側に倒す

[REV] インジケーターが点灯し、逆方向に再生します。

逆再生中もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- スリッパリバースは [DIRECTION FWD REV] レバーを REV 側に倒した位置から 8 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドに戻って通常再生となり [REV] インジケーターが点滅します。
- 8 拍経過する前に [DIRECTION FWD REV] レバーを FWD 側に倒すと、スリッパリバースを解除してバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリッパホットキュー

1 [SLIP] ボタンを押す

スリッパモードに切り換えます。

2 [HOT CUE] (A, B, C, REC/CALL) ボタンを押し続ける

ホットキューが開始されます。

[HOT CUE] (A, B, C, REC/CALL) ボタンを押し続けている間もバックグラウンドで通常の再生を続けます。

バックグラウンド再生の拍に合わせて [SLIP] ボタンが点滅します。

- スリッパホットキューはホットキュー開始から 4 拍経過した位置で自動的に解除され、バックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

3 [HOT CUE] (A, B, C, REC/CALL) ボタンから指を放す

ホットキュー開始から 4 拍経過する前に [HOT CUE] (A, B, C, REC/CALL) ボタンから指を放すとバックグラウンドで再生されていた通常の再生に戻ります。

スリッパモードを解除する

[SLIP] ボタンを押す

スリッパモードが解除されます。

- スリッパモードは、トラックをロードしたときにも解除されます。

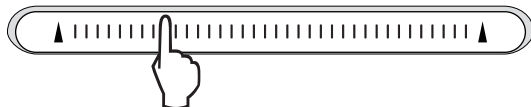
[NEEDLE SEARCH] パッドに触れた位置から再生する

[NEEDLE SEARCH] パッドに指で触れると、触れた位置の音声を簡単に再生できます。パッドに触れたまま指を移動させると、目的の位置まで素早く移動できます。

[NEEDLE SEARCH] パッドは以下の状態のときだけ操作できます。

- 一時停止しているとき
- VINYL モード設定時にジョグダイヤルを押しているとき

一時停止中に [NEEDLE SEARCH] パッドに触れる



プレーイングアドレス表示の現在の再生位置が、触れた位置の真上に移動します。

パッドに触れたまま指を移動させて、再生する位置を移動することもできます。指を素早く動かすと、プレーイングアドレス表示が正しく表示されないことがあります。

ビートシンクを使う

ビートシンクをオンにすると本機で再生するトラックの BPM と拍位置を PRO DJ LINK 接続されているシンクマスターに設定した DJ プレーヤーに自動的に合わせることができます。

- rekordbox で解析していないトラックではビートシンクは動作しません。

1 シンクマスターにしたい DJ プレーヤーの

[BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す

シンクマスターにしたい DJ プレーヤーを決定します。

ビートシンクが機能しているときは、シンクマスターにした DJ プレーヤーの BPM 表示部分がオレンジ色に変化します。

- シンクマスターは rekordbox にすることもできます。
 - ➔ rekordbox をシンクマスターにする方法については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

2 [BEAT SYNC] ボタンを押す

再生中のトラックの BPM と拍位置がシンクマスターに同期します。

- 同期が行われるとテンポスライダーによるテンポコントロールが無効になり再生速度表示がテンポスライダーの位置の BPM 表示に変わり灰色で表示されます。

シンクマスターにする DJ プレーヤーを変更する

以下の方法によりシンクマスターを PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーに変更することができます。

- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの曲を変更する、または一時停止する。
- シンクマスターにしている DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。
- シンクマスター以外の DJ プレーヤーの [BEAT SYNC MASTER] ボタンを押す。

同期を解除する

[BEAT SYNC] ボタンを押す

- 同期中の再生テンポ (BPM) とスライダーの位置のテンポ (BPM) が一致していない時は同期中の再生テンポを維持してテンポスライダーでのテンポコントロールは無効のままになります。テンポスライダーの位置を同期中の再生テンポのところへ移動させると通常の動作に戻ります。

他機器と組み合わせて操作する

パイオニア製 DJ ミキサーと LAN ケーブルを使って接続すると、本機の再生を始めるなどの操作を、DJ ミキサーとのフェーダーで制御できます。

- あらかじめ本機とパイオニア製 DJ ミキサーを接続してください。接続の仕方については、11 ページの「接続する」をご覧ください。
- プレーヤー番号の設定については、3 ページの「PRO DJ LINK」をご覧ください。
- パイオニア製 DJ ミキサーの取扱説明書に掲載されているフェーダースタート機能もあわせてご覧ください。

DJ ミキサーのフェーダーを使って再生を始める (フェーダースタート)

1 本機とパイオニア製 DJ ミキサーを LAN ケーブルを使って接続する

接続方法については、11 ページの「基本スタイル」をご覧ください。

- パイオニア製 DJ ミキサーに LAN 接続端子がないときは、ミニフォンプラグケーブル (φ 3.5 mm) をコントロール端子に接続してください。

2 DJ ミキサーのフェーダースタート機能をオンにする

3 本機のキューを設定する

4 DJ ミキサーのチャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーを動かす

本機の一時停止状態を解除して瞬時にトラックを再生します。

- チャンネルフェーダーまたはクロスフェーダーの位置を元に戻すと、設定していたキューポイントに戻り頭出しされて一時停止状態になります (バックキュー)。

2 台の DJ プレーヤーをリレー再生する

1 本機と DJ ミキサーを接続する

接続方法については、14 ページの「リレー再生のための接続をする」をご覧ください。

2 DJ ミキサーのクロスフェーダーを中央位置に設定する

3 2 台の DJ プレーヤーのオートキューをオンにする

DJ プレーヤーのオートキューインジケータが点灯します。

4 本機の再生を始める

本機が 1 トラック目を再生し終わるともう 1 台の DJ プレーヤーが自動的に再生を始めます。本機は次トラックの先頭で頭出しされて一時停止状態になります。この繰り返しにより自動的に 2 台の DJ プレーヤーでリレー再生できます。

- 2 台の DJ プレーヤーを同じ DJ ミキサーに接続していないときは、リレー再生できないことがあります。
- 再生中の DJ プレーヤーの電源がオフになったときは、もう一方の DJ プレーヤーが再生を始めることがあります。

トラックをブラウズする

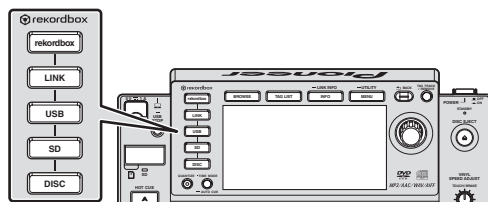
各メディアや接続されたコンピュータ上の rekordbox のライブラリをブラウズして、トラックをリスト表示することができます。

- rekordbox のライブラリ情報が入っていない記録メディア (SD, USB) をブラウズしたときは、フォルダとトラック (音楽ファイル) を階層構造でリスト表示します。

ブラウズ画面に切り換える

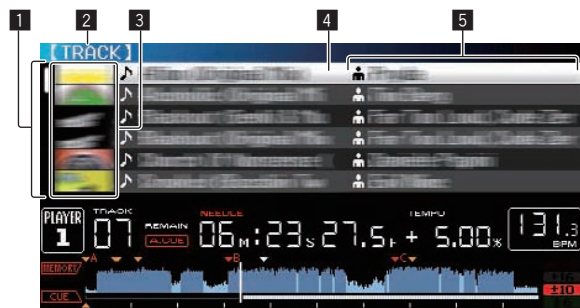
表示したいメディアに対応したメディアボタンを押す

ボタンを押すと、各ソースの内容がリスト表示されます。



- [DISC] ボタン：挿入されているディスクの中身を表示します。
- [SD] ボタン：挿入されている SD メモリーカードの中身を表示します。
- [USB] ボタン：接続されている USB デバイス、モバイルデバイスの中身を表示します。
- [LINK] ボタン：PRO DJ LINK 接続されている他の DJ プレーヤーにセットされている記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスの中身を表示します。
- [rekordbox] ボタン：PRO DJ LINK (LINK Export) 接続されている rekordbox を表示します。
- ブラウズ画面にしているときは [BROWSE] ボタンが点灯します。
- ブラウズ画面表示中に [BROWSE] ボタンを押すと、ブラウズ画面を閉じて通常再生画面に戻ります。もう一度、[BROWSE] ボタンを押すと、前回のブラウズ画面を開きます。

❖ 画面の見かた



1 内容一覧	選んでいるメディアの内容を表示します。
2 上位階層	表示されている項目の上位フォルダまたはメディアの名前を表示します。
3 ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとジャケット写真が消えて、曲名が左詰めで表示されます。 プレイリスト、演奏履歴リストのときは、連番が表示されます。 rekordbox ライブラリがないときは、常に曲名が左詰めで表示されます。
4 カーソル	ロータリーセレクターを回すと上下に移動します。
5 ユーザー設定カテゴリ	rekordbox で表示するカテゴリを選ぶことができます。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。 rekordbox ライブラリがない場合は、カーソルで選んでいるトラックの詳細情報が表示されます。

❖ 再生中のメディアを判別するには

メディアボタンの点灯状態により、再生中のメディアとブラウズ画面に表示されているメディアが把握できます。

- 点灯：そのメディアがブラウズされているときに点灯します。
- 点滅：そのメディア内のトラックがロードされているときに点滅します。

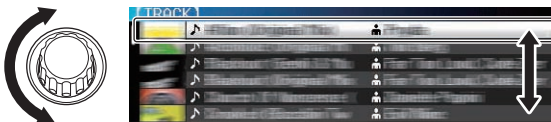
ブラウズ画面での基本操作

❖ 項目を選ぶ

1 ブラウズ画面を表示します

- 「ブラウズ画面に切り換える」(p.30)

2 ローターリーセクターを回して項目を選ぶ



ロータリーセクターを 1 秒以上押しと、ジャンプ機能が使えます。
 ➢ ジャンプ機能について詳しくは、32ページの「ジャンプ機能を使って探す」をご覧ください。

3 ローターリーセクターを押して項目を決定する



下に階層があるときは、その階層を開きます。メニューなどが表示されているときは、選択中の項目を決定します。トラックにカーソルを当てた状態でロータリーセクターを押すと、そのトラックを本機にロードします。

❖ 階層を戻る

ブラウズ画面表示中に [BACK] ボタンを押す

階層を 1 つ上に戻します。

- [BACK] ボタンを 1 秒以上押し、またはブラウズしているメディアのメディアボタンを押すと、一番上の階層に移動します。
- 記録メディア (SD, USB) またはコンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する場合には、最上位階層で [BACK] ボタンを押すと以下の情報を見ることができます。
 - 記録メディア (SD, USB) に rekordbox のライブラリ情報が無い場合：そのメディアの空き容量と使用容量
 - 記録メディア (SD, USB) に rekordbox のライブラリ情報がある場合：そのメディアの空き容量と使用容量、ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数、更新日
 - コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox：ライブラリ情報内のトラック数、プレイリスト数

その他のブラウズ操作

トラックを並べ替える (ソートメニュー)

ブラウズしているとき、ソートメニューを使ってトラックを並べ替えます。

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
 - コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
 - 記憶メディア (SD, USB) の rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

1 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.23)
- 「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.23)

2 トラックがリスト表示されているときに

[MENU/UTILITY] ボタンを押す

画面にソートメニューが表示されます。

3 ローターリーセクターを使って、ソートしたい項目を選んで決定する

選んだ項目に従ってリスト上のトラックが並び替わります。

- ソートメニューに表示させる並べ替え項目は、rekordbox の設定で変更できます。記録メディア (SD, USB) 上の rekordbox ライブラリは、設定を変更したあとに再度エクスポートすると反映されます。

トラックを探す

- 本機能は以下のライブラリに対してのみ行うことができます。
 - コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリをブラウズしているとき
 - 記憶メディア (SD, USB) の rekordbox ライブラリをブラウズしているとき

❖ [SEARCH] カテゴリを使って探す

ライブラリブラウズしているとき、[SEARCH] カテゴリを使ってトラックを検索できます。

1 rekordbox ライブラリを表示させる

- 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.23)
- 「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.23)

2 ローターリーセクターを使って、カテゴリで [SEARCH] を選んで決定する

本体表示部の下端に文字が表示されます。

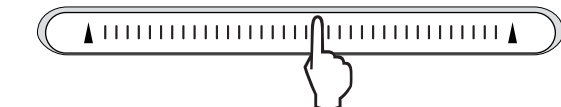
3 [NEEDLE SEARCH] パッドを使って文字を入力する

- 入力した文字を含むトラックだけ表示します。
 - 「[NEEDLE SEARCH] パッドで文字を入力する」(p.31)
- 続けて文字を入力すると、入力した文字列を含むトラックだけ表示します。
- [BACK] ボタンを押すとカテゴリ選択画面に戻ります。

❖ [NEEDLE SEARCH] パッドで文字を入力する

本機のいくつかの機能では、文字の入力に使います。

1 [NEEDLE SEARCH] パッドに触れる




触れた位置の真上の文字が拡大表示されます。

2 [NEEDLE SEARCH] パッドから指を放す

拡大表示されている文字が入力されます。

- 続けて文字を入力するときは、上記手順の操作を繰り返します。
- 入力できる文字は A ~ Z, 0 ~ 9, および記号です。[ABC] および [123] の真下を触れると入力できる文字が切り換わります。

-  を入力すると文字を 1 文字削除します。入力し続けると文字を連続して削除します。

再生中の曲の KEY (音階) を使って探す

表示されているカテゴリが KEY 表示のとき、再生曲の KEY と相性の良い曲の KEY アイコンが青色に変わります。

ジャンプ機能を使って探す

ジャンプ機能を使って、再生したいトラック、カテゴリ、またはフォルダに瞬時に移動できます。

ジャンプ機能には、以下 2 つのモードがあります。

- アルファベットジャンプ: アルファベット順に並んでいる、または並べ替えているときに使います。
- ページジャンプ: アルファベット順に並んでいない、または並べ替えていないときに使います。

❖ アルファベットジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいるリストを表示させる

rekordbox のライブラリや記録メディア (SD, USB) 内のトラックリストなど、アルファベット順に並んでいるリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す

アルファベットジャンプモードに切り換わります。カーソルで選んでいるトラックまたはカテゴリの頭文字が拡大表示されます。

3 ロータリーセレクターを回して、文字または記号を選ぶ

選んだ文字または記号で始まるトラックまたはカテゴリにカーソル位置が移動します。

- 選んだ文字から始まるカテゴリがリストにない場合はカーソルは移動しません。
アルファベットジャンプで表示される文字は A ~ Z、0 ~ 9、および一部の記号です。

❖ ページジャンプのとき

1 アルファベット順に並んでいないリストを表示させる

音楽 CD のトラックや記録メディア (SD, USB) またはディスク内のフォルダなど、アルファベット順に並んでいないリストを表示させます。

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押す

ページジャンプモードに切り換わります。

3 ロータリーセレクターを回して、ページを選ぶ

選んだページに移動します。

❖ INFORMATION ジャンプ機能を使う

詳細情報に表示されている項目を選んで、トラックが含まれるカテゴリを表示できます。この機能はロードしているトラックと同じジャンルや近い BPM 値のトラックを探す場合に便利です。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

- 詳しくは 34 ページの「ロードされているトラックの詳細情報を表示する」をご覧ください。

3 項目を選んで決定する

ブラウズ画面に切り換わり、選択した項目のカテゴリを表示します。

- ブラウズ画面を閉じるには、[BROWSE] ボタンを押します。
- ブラウズ画面に表示するべき項目が無いものや、詳細画面にアイコンだけが表示されている項目は選べないことがあります。
- トラックを選んだときは、トラックがロードされる直前に表示していたブラウズ画面を表示します。
- ディスクのトラック、rekordbox ライブラリが入っていない記録メディア (SD, USB) では、項目はトラックのみ選択できます。

ホットキューバンクを使う

あらかじめ rekordbox で設定しておいたホットキューバンクを、本機の [HOT CUE] (A, B, C) ボタンに一度でセットできます。

1 ホットキューバンクが記録されている記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 ロータリーセレクターを使って、ブラウズ画面でカテゴリの [HOT CUE BANK] を選んで決定する

ホットキューバンクがリスト表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、呼び出したいホットキューバンクを選んで決定する

選んだホットキューバンクに登録されているホットキューが画面に表示されます。

- カーソルはホットキューバンク A に固定されます。ロータリーセレクターやその他のボタンを使って移動できません。

4 ロータリーセレクターを押す

本機の [HOT CUE] (A, B, C) ボタンにセットされたホットキューがホットキューバンクに登録されているホットキューで上書きされます。[HOT CUE] (A, B, C) ボタンが点灯します。

- ホットキューバンクをセットしたあと、本機の [HOT CUE] (A, B, C) ボタンのいずれかに新しいホットキューを上書きすると、ホットキューバンクから登録したホットキューは他の 2 つも削除されます。
- ホットキューバンクは本機では編集できません。rekordbox を使って編集してください。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

演奏履歴を参照する (HISTORY)

ブラウズ画面でのカテゴリの [HISTORY] には、トラックの演奏履歴が記録および表示されます。

- rekordbox を使って [HISTORY] の演奏履歴を元にプレイリストを作成できます。詳しくは、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

演奏履歴を記録する

1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする

2 トラックを再生する

約 1 分間プレイしたトラックが演奏履歴リストに記録されます。

- 記録メディア (SD, USB) を本機にはじめてセットしたとき、または再セットしたとき、記録メディア (SD, USB) 内に新しい演奏履歴リストが自動で作成されます。
- [UTILITY] で演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定しておくことができます。
☞ 「演奏履歴リストの名前を設定する」(p.37)
- 同一のトラックを 2 回以上連続してプレイした場合は、履歴に残らないことがあります。
- 1 つの演奏履歴リストに記憶できる最大トラック数は、999 トラックです。1000 トラック以上を記憶するときは、新たな履歴を記憶するために一番古い履歴が削除されます。演奏履歴リストは 999 個まで作成できます。
- 演奏履歴リストに登録されたトラックは、曲名等が緑色 (再生済み) に変わります。
- カテゴリの [PLAYLIST] 内のトラックは [MENU] ボタンを使って曲名等を緑色 (再生済み) に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストにトラックが登録されます。

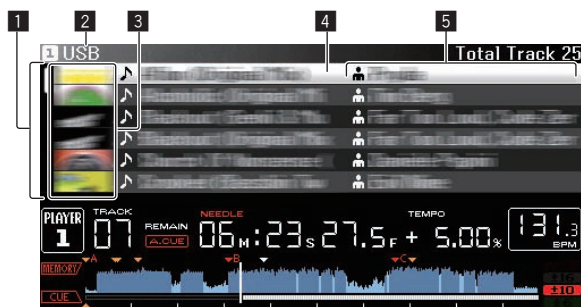
演奏履歴を削除する

- 1 記録メディア (SD, USB) を本機にセットする
- 2 rekordbox ライブラリを表示させる
 - 「他プレーヤーの記録メディア (SD, USB)、rekordbox をインストールしたモバイルデバイスを再生する」(p.23)
 - 「コンピュータ上およびモバイルデバイス上の rekordbox のライブラリを再生する」(p.23)
- 3 ロータリーセクターを使って、カテゴリで [HISTORY] を選んで決定する
演奏履歴リストがリスト表示されます。
- 4 ロータリーセクターを回して、削除したい演奏履歴リストを選ぶ
- 5 [MENU/UTILITY] ボタンを押す
削除メニューが表示されます。
- 6 ロータリーセクターを回して、削除範囲を選んで決定する
 - [DELETE] : 選ばれている演奏履歴リストが削除されます。
 - [ALL DELETE] : すべての演奏履歴リストが削除されます。
 - 記録メディア (SD, USB) の演奏履歴リストを rekordbox にプレイリストとして取り込むと、取り込まれた演奏履歴リストは記録メディア (SD, USB) から削除されます。
 - カテゴリの [PLAYLIST] 内のトラックは [MENU] ボタンを使って曲名等を緑色 (再生済み) から白色 (未再生) に変更することができます。変更を行うと演奏履歴リストからトラックが削除されます。
- 7 ロータリーセクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストを編集する

次に再生するトラックや DJ シーンに合わせて選んだトラックを、マークを付けてあらかじめリストに集めておくことができます。集めたトラックリストを「タグリスト」といいます。タグリストは PRO DJ LINK 接続されている複数の DJ プレーヤーの間で、リアルタイムで相互に参照できるリストになります。

- タグリストに追加できるトラック数は、1 メディア当たり 100 トラックです。
- タグリストは 1 つの記録メディア (SD, USB) で 1 つ作成されます。記録メディア (SD, USB) をまたいでトラックをリストに集めることはできません。
- 同一フォルダ内の同一トラックを重複して登録することはできません。




1 内容一覧	タグリストの内容を表示します。
2 メディア名	トラックが記録されているメディアの名前を表示します。
3 ジャケット写真	rekordbox で登録したアートワークの一部を表示します。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとジャケット写真が消え連番が表示されます。
4 カーソル	ロータリーセクターを回すと上下に移動します。
5 ユーザー設定 カテゴリ	rekordbox で表示するカテゴリを選ぶことができます。 [INFO/LINK INFO] ボタンを押すとカーソルで選んでいるトラックの詳細情報を表示します。

タグリストにトラックを追加する

❖ トラックを選んで追加する

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、トラックをリスト表示する
- 2 トラックにカーソルを合わせ [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す

トラックの左側に  が表示され、その記録メディア (SD, USB) のタグリストにトラックが追加されます。

- rekordbox を使ってあらかじめタグリストにトラックを登録しておくことができます。
 - この操作については、rekordbox (Mac/Windows) の操作説明書をご覧ください。

❖ ロードしているトラックを追加する

- 1 トラックをロードする
- 2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す
- 3 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す
本機にロードされているトラックがタグリストに追加されます。
 - 通常再生画面でも [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押してタグリストに追加できます。

❖ カテゴリまたはフォルダごと追加する

選んだカテゴリまたはフォルダ内のすべてのトラックをタグリストに追加できます。

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、直下にトラックが含まれるカテゴリまたはフォルダを選ぶ
情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。

- 2 カテゴリまたはフォルダにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す
カテゴリ名またはフォルダ名が点滅し、カテゴリまたはフォルダ内のすべてのトラックがタグリストに追加されます。
 - フォルダブラウズしているときにフォルダを追加すると、ID3 等を一度も読み込んでいないトラックはトラック名がファイル名で登録されます。アーティスト名は登録されません。
 - タグリストに追加したあと、登録曲をブラウズ画面のトラックリスト内で表示する、または登録曲をプレーヤーにロードして ID3 等を読み込むとファイル名はトラック名に変わりアーティスト名も登録されます。

❖ プレイリストからトラックを追加する

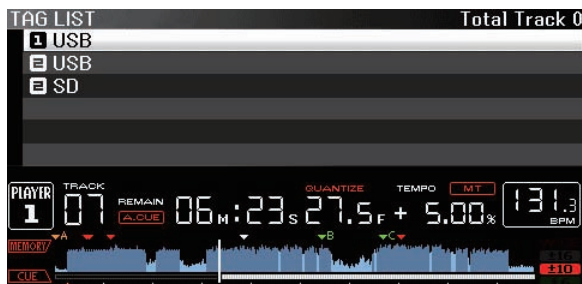
選んだプレイリスト内のトラックをタグリストに追加できます。

- 1 ブラウズ画面に切り換えて、カテゴリの [PLAYLIST] を選んで決定する
プレイリストがリスト表示され、情報表示画面の右半分にトラックが一覧表示されている状態になります。
- 2 プレイリストにカーソルを合わせて、[TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押す
プレイリスト名が点滅し、プレイリスト内のトラックがタグリストに追加されます。

タグリストからトラックをロードする

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。



- DJ プレーヤーに複数の記録メディア (SD, USB) がセットされている場合、記録メディア (SD, USB) の名前の前にその記録メディア (SD, USB) がセットされているプレーヤー番号が表示されます。

2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、ロードしたいトラックを選んで決定する

トラックがロードされ再生が始まります。

タグリストからトラックを削除する

タグリスト上からトラックを削除することができます。

- タグリストに追加されているトラックを再生しているとき、そのトラックをタグリストから削除すると、トラックの最後まで再生してから停止します。次トラックは再生しません。

❖ 1 トラックずつ削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、削除したいトラックにカーソルを合わせる

4 [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを 1 秒以上押す

以下の画面の時に [TAG TRACK/REMOVE] ボタンを押すとタグリストからトラックを削除することができます。

- ブラウズ画面でタグリストに登録されているトラックにカーソルが合っているとき。
- タグリストに登録されているトラックのロード中に通常再生画面またはトラックの詳細情報画面が表示されているとき。

❖ すべてのトラックを削除する

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ロータリーセレクターを使って、[REMOVE ALL TRACKS] を選んで決定する

6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストをプレイリストに変換する

タグリストとして集めたトラックをプレイリストに変換することができます。

- 変換したプレイリストはカテゴリーの [PLAYLIST] の項目として表示できます。

1 [TAG LIST] ボタンを押す

タグリストを表示します。

2 ロータリーセレクターを使って、記録メディア (SD, USB) を選んで決定する

記録メディア (SD, USB) を選ぶと、その記録メディア (SD, USB) 内のタグリストが表示されます。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[LIST MENU] が表示されます。

4 ロータリーセレクターを使って、[TAGLIST MENU] を選んで決定する

[TAGLIST MENU] が表示されます。

5 ロータリーセレクターを使って、[CREATE PLAYLIST] を選んで決定する

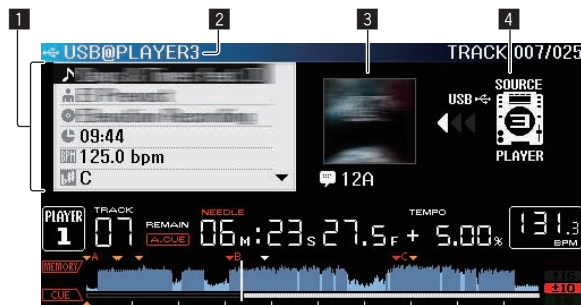
6 ロータリーセレクターを使って、[OK] を選んで決定する

タグリストの内容が [TAG LIST XXX] という名前のプレイリストに変換されます。

- 記録メディア (SD, USB) 内に rekordbox のライブラリ情報が記録されていないときは、タグリストをプレイリストに変換できません。
- タグリストに rekordbox で管理しているトラックと rekordbox で管理していないトラックの両方を登録している場合、rekordbox で管理されているトラックだけプレイリストに変換されます。

ロードされているトラックの詳細情報を表示する

ロードされているトラックの詳細情報を確認できます。



1 トラック情報詳細 DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示します。

2 メディア / プレーヤー番号 トラックの情報が保存されている場所を表示します。

3 ジャケット写真、コメント DJ プレーヤーにロードされているトラックのジャケット写真およびコメントを表示します。

4 ソース表示 ロードされているトラックの格納元を表示します。

ソース表示 (4) は本機に挿入されたディスク、記録メディア (SD、USB) がロードされているときは表示されません。

1 トラックをロードする

2 通常再生画面で [INFO] ボタンを押す

トラックの詳細情報が表示されます。

曲のレーティングを変更する

曲のレーティング (評価) を変更できます。

1 詳細情報に表示されているレーティング (表示例：☆☆☆☆) を選ぶ

2 ロータリーセレクターを 1 秒以上押してから、ロータリーセレクターを左または右に回す

ロード中の曲のレーティングが変更されます。

他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を表示する



他の DJ プレーヤーが PRO DJ LINK 接続されているときは、他の DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報を確認できます。

1 本機と DJ プレーヤーを PRO DJ LINK 接続する

2 [INFO] ボタンを 1 秒以上押す

[LINK INFO] 画面が表示されます。

3 ロータリーセレクターを使って、トラック情報を見たい DJ プレーヤーを選んで決定する

選んだ DJ プレーヤーにロードされているトラックの詳細情報が表示されます。

設定を変更する

設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を記録メディア (SD, USB) に記録できます。

記録した設定内容は、rekordbox へ書き出せます。

rekordbox で本機の設定を行ってから記録メディア (SD, USB) に記録し、その設定値を他のプレーヤーに反映することもできます。

• 記録される設定内容は以下です。

— [UTILITY] の設定内容

PLAY MODE、EJECT/LOAD LOCK、AUTO CUE LEVEL、SLIP FLASHING、ON AIR DISPLAY、JOG BRIGHTNESS、JOG INDICATOR、DISC SLOT ILLUMINATION、LANGUAGE、LCD BRIGHTNESS

— その他の設定内容

TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC

1 設定内容を記録したい記録メディア (SD, USB) をセットする

2 メディアボタン (SD, USB) を押す

設定内容を記録する記録メディア (SD, USB) が PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[LINK] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [SAVE] を選んで決定する

設定内容が記録されます。

記録メディア (SD, USB) に記録した設定内容を呼び出す

記録メディア (SD, USB) に記録した、[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を呼び出すことができます。

1 設定内容を記録した記録メディア (SD, USB) をセットする

2 メディアボタン (SD, USB) を押す

設定内容を記録する記録メディア (SD, USB) が PRO DJ LINK 接続中の他の DJ プレーヤーにセットされているときは、[LINK] ボタンを押して記録メディアを選んでください。

3 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

4 ロータリーセレクターを使って [MY SETTINGS] の [LOAD] を選んで決定する

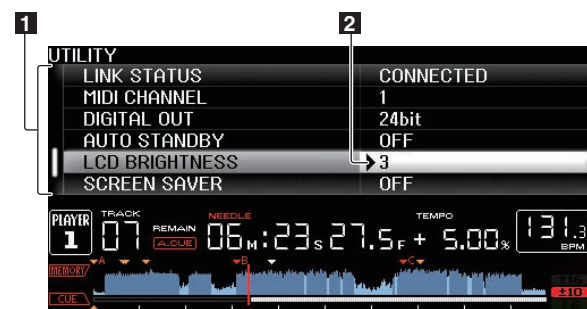
設定内容が呼び出されます。

[UTILITY] 画面を表示する

[MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

画面の見かた



1 設定項目 本機の設定項目が表示されます。

2 項目内容 それぞれの項目の設定値を表示します。

設定を変更する

1 [MENU/UTILITY] ボタンを 1 秒以上押す

[UTILITY] 画面が表示されます。

2 ロータリーセレクターを回して、設定項目を選ぶ

3 変更したい項目にカーソルを合わせて、ロータリーセレクターを押す

カーソルが設定内容に移動します。

4 ロータリーセレクターを回して、設定内容を変更する

5 ロータリーセレクターを押して、設定内容を決定する
カーソルが設定項目に戻ります。

• 設定内容を決定する前に [BACK] ボタンを押すと変更を中止します。

6 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

[MENU/UTILITY] ボタンを押す前の画面に戻ります。

設定項目一覧

設定項目	設定範囲	説明
PLAY MODE	CONTINUE*/SINGLE	本機にロードされているトラックの再生方法を変更します 詳しくは 37 ページの「再生方法を変更する」をご覧ください。
EJECT/LOAD LOCK	LOCK/UNLOCK*	再生中のディスクの取り出し、再生中に新たなトラックのロードを禁止する / しないを設定します。
AUTO CUE LEVEL	-36 dB/-42 dB/ -48 dB/-54 dB/ -60 dB*/-66 dB/ -72 dB/-78 dB /MEMORY	詳しくは、28 ページの「オートキューのキューポイントを設定する」をご覧ください。
SLIP FLASHING	ON*/OFF	[SLIP] ボタンを押したときに、スリップ機能が働くボタン等のインジケータを点滅させる / させないを設定します。

設定項目	設定範囲	説明
ON AIR DISPLAY	ON*/OFF	ON AIR DISPLAY 対応ミキサーと PRO DJ LINK 接続しているときの表示方法を選べます。ON AIR DISPLAY 対応ミキサー (DJM-2000 など) の取扱説明書もあわせてご覧ください。
JOG BRIGHTNESS	OFF/1/2*	JOG RING ILLUMINATION の明るさを選べます。
JOG INDICATOR	ON*/OFF	トラックの残り時間が少なくなったとき、JOG RING ILLUMINATION を点滅させる / 点滅させないを選べます。
DISC SLOT ILLUMINATION	OFF/1/2*	ディスク挿入ロインジケータの明るさを設定します。
LANGUAGE	—	本体表示部に表示される言語を選べます。
LIBRARY CREATOR	LIBRARY*/FOLDER	パイオニア製 MEP-7000 用ライブラリを表示する / 表示しないを選べます。
HISTORY NAME	—	詳しくは、37ページの「演奏履歴リストの名前を設定する」をご覧ください。
PLAYER No.	AUTO*, 1~4	本機のプレーヤー番号を設定します。本機にメディアがセットされているときは変更できません。
LINK STATUS	—	PRO DJ LINK 接続しているとき接続状態を表示します。
MIDI CHANNEL	1*~16	詳しくは、40ページの「MIDI チャンネル設定を変更する」をご覧ください。
DIGITAL OUT	16 bit/24 bit*	[DIGITAL OUT] 端子から出力する音声の bit 数を切り換えます。
AUTO STANDBY	ON*/OFF	詳しくは、40ページの「MIDI チャンネル設定を変更する」をご覧ください。
LCD BRIGHTNESS	1~3*~5	本体表示部の明るさを設定します。
SCREEN SAVER	ON*/OFF	[ON] に設定すると、以下いずれかのとき、スクリーンセーバーが起動します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機に5分以上トラックがロードされないとき 一時停止、キュー待機状態、または [END] が本体表示部に表示されたまま100分以上何も操作されないとき
DUPLICATION	DEFAULT*, ALL, PLAYER1~4	詳しくは、38ページの「PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤーへ設定内容を複製する」をご覧ください。
VERSION No.	—	本機のソフトウェアバージョンが表示されます。

*：お買い上げ時の設定

再生方法を変更する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.36)

2 ローターセレクターを使って、[PLAY MODE] を選んで決定する

3 ローターセレクターを使って、[CONTINUE] または [SINGLE] を選んで決定する

CONTINUE：すべてのモードで前の曲や次の曲に移動できます。

SINGLE：本体表示部の [TRACK] の文字が [SINGLE] に変わり、トラックサーチボタン、サーチボタン以外では前の曲や次の曲へ移動できなくなります。

- 音楽 CD のトラックの場合は、設定にかかわらず [CONTINUE] で動作します。

オートスタンバイを設定する

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.36)

2 ローターセレクターを使って、[AUTO STANDBY] を選んで決定する

3 ローターセレクターを使って、[ON] または [OFF] を選んで決定する

[AUTO STANDBY] を [ON] に設定すると、以下のときにオートスタンバイ機能が動きスタンバイ状態になります。

- ディスク、記録メディア (SD, USB) がセットされていない、かつ PRO DJ LINK 接続していない、かつ USB 端子 (本体背面部) にコンピュータが接続されていない状態で、4 時間以上まったく何も操作されないとき
- 本機を操作するとスタンバイ状態が解除されます。
- 本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。

演奏履歴リストの名前を設定する

記録メディア (SD, USB) に記録される演奏履歴リストの名前をあらかじめ設定できます。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.36)

2 ローターセレクターを使って、[HISTORY NAME] を選んで決定する

3 [NEEDLE SEARCH] パッドを使って文字を入力する

⇒ 「[NEEDLE SEARCH] パッドで文字を入力する」(p.31)

4 ローターセレクターを押して決定する

入力した名前に変更されます。

- 演奏履歴リストの名前を変更すると、演奏履歴リストの名前の後ろの数字が 001 に戻ります。この数字は演奏履歴リストが作成される度に順番に追加されます。
- [HISTORY] の名前に設定できる文字数は、半角英数と記号を合わせて 32 文字です。

言語を変更する

トラック名などの表示、画面上メッセージ表示に使われる言語を選択します。

- 言語を切り換えると、本体表示部に表示されるメッセージが選択した言語で表示されます。
- トラック名などを表示する際、Unicode 以外のローカルコードで書かれている文字を表示したいときは、[LANGUAGE] 設定を変更してください。

1 [UTILITY] 画面を表示させる

⇒ 「[UTILITY] 画面を表示する」(p.36)

2 ローターセレクターを使って、[LANGUAGE] を選んで決定する

3 ローターセレクターを使って、言語を選んで決定する

画面表示言語が変更されます。

PRO DJ LINK 接続中の DJ プレーヤー へ設定内容を複製する

[UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容を PRO DJ LINK で接続している他の DJ プレーヤーに複製できます。

- 複製される設定内容は以下です。
 - [UTILITY] の設定内容
PLAY MODE、EJECT/LOAD LOCK、AUTO CUE LEVEL、SLIP FLASHING、ON AIR DISPLAY、JOG BRIGHTNESS、JOG INDICATOR、DISC SLOT ILLUMINATION、LANGUAGE、LCD BRIGHTNESS
 - その他の設定内容
TIME MODE (本体表示部の時間表示方法)、AUTO CUE、JOG MODE、TEMPO RANGE、MASTER TEMPO、QUANTIZE、SYNC

1 [DUPLICATION] を選んで決定する

2 設定を反映させたい DJ プレーヤーの再生を止める

3 ロータリーセレクターを使って、[PLAYER X] または [ALL] を選んで決定する

[PLAYER1]-[PLAYER4] : 指定した DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーは選べません。

[ALL] : PRO DJ LINK 接続中のすべての DJ プレーヤーに設定を複製します。再生中の DJ プレーヤーには設定を複製できません。

指定したプレーヤーの表示部に [DUPLICATED] と表示され、本機の [UTILITY] の設定内容およびその他の設定内容が指定したプレーヤーに複製されます。

[DEFAULT] : 本機の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ドライバソフトウェアについて (Windows)

ドライバソフトウェアをインストールする

- Mac OS X をお使いのときは、ドライバソフトウェアをインストールする必要はありません。

動作環境

対応 OS		
Windows® 7 Home Premium/ Professional/Ultimate	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ ¹⁾
Windows Vista® Home Basic/ Home Premium/Business/ Ultimate (SP2以降)	32 ビット版	○
	64 ビット版	○ ¹⁾
Windows® XP Home Edition/ Professional (SP3以降)	32 ビット版	○

¹⁾ 64 ビット版 Windows をお使いのときは、ドライバソフトウェアは 32 ビットアプリケーションだけにお使いいただけます。

ドライバソフトウェアをインストールする前に

- 8 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
- ドライバソフトウェアをコンピュータにインストールしないで本機をコンピュータに接続すると、お客様の環境によってはコンピュータにエラーが発生することがあります。
- ドライバソフトウェアのインストールを途中で中止したときは、はじめからインストールをやり直してください。

1 本機の電源スイッチを切り、本機とコンピュータを接続している USB ケーブルを取り外す

2 コンピュータの管理者に設定されているユーザーでログオンする

3 コンピュータ上で他に作業中のプログラムがあれば、すべて終了させる

4 CD-ROM をコンピュータの光学ドライブに挿入する

CD-ROM のメニューが表示されます。

- CD-ROM を挿入しても CD-ROM のメニューが表示されないときは、[スタート] メニューの [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] から光学ドライブを開き [CD_menu.exe] のアイコンをダブルクリックしてください。

5 CD-ROM のメニューが表示されたら、[ドライバソフトウェアをインストールする] を選んで [開始] をクリックする



- CD-ROM のメニューを終了させるときは、[終了] をクリックしてください。

6 画面の指示に従ってインストールする

インストールの途中で [Windows セキュリティ] 画面が表示されることがありますが、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックしてインストールを続行してください。

- Windows XP にインストールしているとき
インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。
- インストールプログラムが終了すると終了メッセージが表示されます。

本機とコンピュータを USB 接続する

1 本機とコンピュータを USB ケーブルで接続する

接続方法については、14 ページの「他社製 DJ ソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [POWER ON/OFF] ボタンを押す

本機の電源をオンにします。

- 本機をはじめてコンピュータに接続したとき、またはコンピュータの USB 端子をつなぎ変えたときに [デバイスドライバソフトウェアをインストールしています] メッセージが表示されることがあります。[デバイスを使用する準備ができました] メッセージが表示されるまでそのままお待ちください。
- Windows XP にインストールしているとき
 - インストールの途中で [ハードウェア検索のため、Windows Update に接続しますか?] と表示されることがあります。[いいえ、今回は接続しません] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
 - インストールの途中で [インストール方法を選んでください] と表示されることがあります。[ソフトウェアを自動的にインストールする (推奨)] を選んで [次へ] をクリックしてインストールを続行してください。
 - インストールの途中で [ハードウェアのインストール] 画面が表示されることがありますが、[続行] をクリックしてインストールを続行してください。

バッファサイズを調整する (Windows)

本機は ASIO 規格に準拠したオーディオデバイスとしての機能を備えています。

- 本機を既定のオーディオデバイスとして使っているアプリケーション (DJソフトウェアなど) が起動しているときは、そのアプリケーションを終了させてからバッファサイズを調整してください。

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [Pioneer CDJ] > [Pioneer CDJ ASIO 設定ユーティリティ] をクリックする



- バッファサイズを大きくすると、音声データの脱落 (音とぎれ) などが生じにくくなりますが、音声データの伝送遅延 (レイテンシー) によるタイムラグが増大します。
- ビット数は ASIO 再生時のビット深度を指定します。
- バッファサイズおよびカーネルバッファの調整は、以下の手順を参考に操作してください。

❖ 初期設定状態で音とぎれが発生していないとき

1 バッファサイズを徐々に小さくして、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

2 カーネルバッファ数を [2] に設定して、音とぎれが発生するか確認する

- 音とぎれが発生するときはカーネルバッファ数を [3] に設定してください。

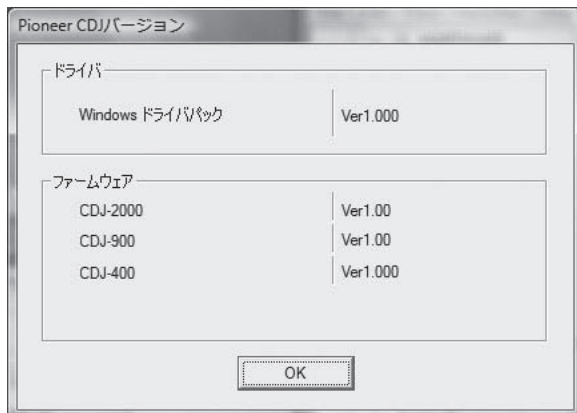
❖ 初期設定状態で音とぎれが発生しているとき

カーネルバッファ数を [4] に設定にしたあと、音とぎれが発生しない最小のバッファサイズに設定する

ドライバソフトウェアのバージョンを確認する

- この画面では本機のファームウェアのバージョンも確認できます。

Windows の [スタート] メニュー > [すべてのプログラム] > [Pioneer] > [Pioneer CDJ] > [Pioneer CDJ バージョン表示ユーティリティ] をクリックする



- 本機がコンピュータに接続されていないとき、または本機とコンピュータが正常に通信できていないときは、ファームウェアのバージョンは表示されません。

ドライバソフトウェアの最新情報を確認する

本機の専用ドライバソフトウェアの最新情報については、下記ホームページを参照してください。

<http://pioneerdj.com/support/>

他社製 DJ ソフトウェアを使う

MIDIを使ってDJソフトウェアを操作する

本機はボタンやつまみなどの操作情報を汎用のMIDI形式でも出力します。MIDI対応のDJソフトウェアをインストールしたコンピュータとUSBケーブルを使って接続すると、本機でDJソフトウェアを操作できます。また、コンピュータで再生している音楽ファイルの音声を本機から出力できます。

本機をオーディオデバイスとして使うときはあらかじめコンピュータにドライバソフトウェアをインストールしてください(38ページ)。また、DJソフトウェアのオーディオ出力デバイスの設定で本機を選んでおく必要があります。詳しくは、お使いのDJソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

1 本機のUSB端子とコンピュータを接続する

接続方法については、14ページの「他社製DJソフトウェアを使う」をご覧ください。

2 [BROWSE] ボタンを押してから [LINK] ボタンを押す

メニュー画面に [コントロールモード] および [USB-MIDI] が表示されます。

3 [コントロールモード] を選んで決定する

接続中画面が表示されます。

4 [USB-MIDI] を選んで決定する

本機がコントロールモードに切り換わります。

5 DJソフトウェアを起動する

DJソフトウェアと通信が始まります。

- 本機のボタンおよびロータリーセレクターなどを使ってコンピュータのDJソフトウェアを操作できます。
- ボタンによってはDJソフトウェアの操作に使えないことがあります。
- 本機にトラックがロードされるとコントロールモードが解除されます。
- 本機が出力するメッセージについては41ページの「MIDIメッセージ一覧」をご覧ください。

MIDIチャンネル設定を変更する

1 [MENU/UTILITY] ボタンを1秒以上押す

ユーティリティ画面が表示されます。

2 [MIDI CHANNEL] を選んで決定する

3 ロータリーセレクターを回す

MIDIチャンネルを選んで設定を変更します。1～16の設定を選べます。

4 ロータリーセレクターを押して決定する

5 [MENU/UTILITY] ボタンを押す

元の画面に戻ります。

MIDI メッセージ一覧

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
JOG (TOUCH)	-	Bn	10	dd	停止から4倍速の速度に対するリニア値で、停止で64、FWD方向:65(0.06倍速)~127(4倍速)・REV方向:63(0.06倍速)~0(4倍速)。
TEMPO SLIDER	VR	Bn	1D	dd	0~127-側で0、+側で127
TOUCH/BRAKE	VR	Bn	1E	dd	0~127左側(min)で0、右側(max)で127
RELEASE/START	VR	Bn	1F	dd	0~127左側(min)で0、右側(max)で127
JOG RING	-	Bn	30	dd	0.5倍速から4倍速の速度に対するリニア値で、停止(0.49倍速以下)で64、FWD方向:65(0.5倍速)~127(4倍速)・REV方向:63(0.5倍速)~0(4倍速)。
ENCODER	General Purpose Controller	Bn	4F	dd	98~127、1~30前からの差分のカウント値を転送(±1~±30)±30以上のときは±30とする
PLAY/PAUSE	SW	9n	00	dd	OFF=0, ON=127
CUE	SW	9n	01	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH FWD	SW	9n	02	dd	OFF=0, ON=127
SEARCH REV	SW	9n	03	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH NEXT	SW	9n	04	dd	OFF=0, ON=127
TRACK SEARCH REV	SW	9n	05	dd	OFF=0, ON=127
LOOP IN	SW	9n	06	dd	OFF=0, ON=127
LOOP OUT	SW	9n	07	dd	OFF=0, ON=127
RELOOP	SW	9n	08	dd	OFF=0, ON=127
QUANTIZE	SW	9n	09	dd	OFF=0, ON=127
MEMORY	SW	9n	0A	dd	OFF=0, ON=127
CALL NEXT	SW	9n	0B	dd	OFF=0, ON=127
CALL PREV	SW	9n	0C	dd	OFF=0, ON=127
DELETE	SW	9n	0D	dd	OFF=0, ON=127
TIME/A.CUE	SW	9n	0E	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RANGE	SW	9n	10	dd	OFF=0, ON=127
MASTER TEMPO	SW	9n	11	dd	OFF=0, ON=127
JOG MODE	SW	9n	12	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE A	SW	9n	18	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE B	SW	9n	19	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE C	SW	9n	1A	dd	OFF=0, ON=127
HOT CUE REC/CALL	SW	9n	1C	dd	OFF=0, ON=127
TEMPO RESET	SW	9n	1D	dd	OFF=0, ON=127
MASTER	SW	9n	1E	dd	OFF=0, ON=127
SYNC	SW	9n	1F	dd	OFF=0, ON=127

SW 名	SW の種類	MIDI メッセージ			備考
		MSB			
JOG TOUCH	SW	9n	20	dd	OFF=0, ON=127
REVERSE	SW	9n	21	dd	OFF=0, ON=127
LOOP MODE	SW	9n	2A	dd	OFF=0, ON=127
SLIP	SW	9n	2C	dd	OFF=0, ON=127
EJECT	SW	9n	2F	dd	OFF=0, ON=127
TAG TRACK	SW	9n	30	dd	OFF=0, ON=127
BACK	SW	9n	32	dd	OFF=0, ON=127
ENCODER PUSH	SW	9n	33	dd	OFF=0, ON=127
NEEDLE	Touch Sensor	Bn	1C	dd	OFF=0 1→127で左側→右側ポジション位置データ

nはチャンネル番号です。

その他

故障かな？と思ったら

- 故障かな？と思ったら、下記の項目を確認してください。また、本機と接続している機器もあわせて確認してください。それでも正常に動作しないときは、45ページの「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、販売店にお問い合わせください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源をオフにしディスクが完全に停止してから再度電源をオンすることで正常に動作することがあります。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ディスクが取り出せない。	[EJECT/LOAD LOCK] を [LOCK] に設定していませんか？ —	[PLAY/PAUSE▶/II] ボタンを押して一時停止してから [DISC EJECT▲] ボタンを押してください。 [UTILITY] 内の [EJECT/LOAD LOCK] を [UNLOCK] に設定して [DISC EJECT▲] ボタンを押してください。 [DISC EJECT▲] ボタンが働かないときは、ディスク強制取り出し穴にピンを挿入して取り出してください。
ディスクをセットしても再生が始まらない。	再生できるディスクまたはファイルですか？ オートキュー機能が働いていませんか？	5ページの「使用できるメディア」をご覧ください。 [AUTO CUE] を1秒以上押して、オートキュー機能を解除してください。
ファイルを再生できない。	ファイルが著作権保護 (DRM) されていませんか？	著作権保護されているファイルは再生できません。
音が出ない、歪む、またはノイズが出る。	接続している DJ ミキサーが正しく操作されていますか？ 本機とテレビを近くに設置していませんか？	DJ ミキサーの操作を確認してください。 テレビの電源をオフにしてください。または本機とテレビを離して設置してください。
特定のディスクを再生すると、大きなノイズが出るまたは再生が停止する。	ディスクに傷がついていませんか？ ディスクが汚れていませんか？	傷がついているディスクは再生できないことがあります。 ディスクの汚れを拭き取ってください。(45ページ)
ファイルの情報が正しく表示されません。	[LANGUAGE] が適切に設定されていますか？ 本機が対応していない言語で情報が記述されていませんか？	[LANGUAGE] を適切な言語に設定してください。 DJ ソフトウェアなどを使ってファイルを作成するときは、本機が対応している言語で情報を記述してください。
トラックサーチが終わらない。	オートキュー機能が働いていませんか？ —	曲間の無音部分が長いときは、トラックサーチに時間がかかることがあります。 10秒以内にトラックサーチできないときは、トラックの先頭がキューポイントに設定されます。
バックキュー機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください(25ページ)。
ループプレイ機能が働かない。	キューポイントが設定されていますか？	キューポイントを設定してください(25ページ)。
設定が記憶されない。	設定を変更したあと、すぐに電源をオフしていませんか？	設定を変更したあとは、10秒以上経過してから電源をオフにしてください。
USB デバイスを認識しない。	USB デバイスが正しく接続されていますか？ USB ハブを経由して接続していませんか？ 本機が対応している USB デバイスですか？ —	奥までしっかり差し込んでください。 USB ハブは使えません。 USB マスストレージクラスの機器にだけ対応しています。 携帯フラッシュメモリー、またはデジタルオーディオ再生機器に対応しています。 ファイルフォーマットが本機に対応していますか？ 接続している USB デバイスのファイルフォーマットを確認してください。本機が対応しているファイルフォーマットについては、6ページの「USB デバイスについて」をご覧ください。 電源をオンし直してください。
記録メディア (SD, USB) にキューポイントまたはループが記憶されない。	制限数以上のポイントを記録しようとしていますか？ — 記録メディア (SD, USB) が書き込み禁止に設定されていますか？ — 記録メディア (SD, USB) に十分な空き容量がありますか？	記録メディア (SD, USB) に記録できるキューポイントまたはループポイントは、ディスク1枚当たり100か所です。また、ディスク以外のメディアでは、1トラック当たり10か所です。 制限数以上のポイントを記録しようとする [CUE/LOOPPOINT FULL] が表示され記録できません。この場合は、いくつかのポイントを削除してから、記憶させてください。 SDメモリーカードが書き込み禁止に設定されているときは、[CARD PROTECTED] と表示され記録できません。また、USB デバイスが書き込み禁止に設定されているときは、[USB FULL] と表示され記録できません。書き込み禁止の設定を解除してから、再度記憶させてください。 SDメモリーカードの空き容量が足りないときは、[CARD FULL] と表示され記録できません。また、USB デバイスの空き容量が足りないときは、[USB FULL] と表示され記録できません。空き容量を確保してから、再度記憶させてください。
記録メディア (SD, USB) に記録されている曲のキューポイントまたはループが表示されない。	前回 USB デバイスを取り外すときに、正しく停止処理を行いましたか？	停止処理を行わずに取り外すまたは本機の電源をオフにすると、表示されないことがあります。 記録メディア (SD, USB) を取り外したり、本機の電源をオフにする前に、SDメモリーカードインジケータや USB インジケータが完全に消灯していることを確認してください。

こんなときは	ここを確認してください	対応の仕方
ホットキュー記録モードを呼び出したときやリループ実行時にボタンを押ししたり、逆再生実行時にレバーを倒しても、瞬時に開始されない。	クオンタイズ機能がオンになっていませんか？	クオンタイズ機能がオンになっていると、ボタンを押ししたりレバーを倒したときに最も近い拍位置から開始されます。ボタンを押ししたりレバーを倒した瞬間に動作させたい場合は、クオンタイズ機能をオフにしてください。
プレーイングアドレス表示が残り時間表示で表示されない。	—	VBR で記録されているファイルを再生しているときは、曲の長さがすぐに判らないことがあるためプレーイングアドレス表示が表示されるまでに時間がかかることがあります。
記録メディア (SD, USB) (フラッシュメモリーまたはハードディスク) の読み込みに時間がかかる。	記録メディア (SD, USB) に大量のフォルダまたはファイルを記録していませんか？ 記録メディア (SD, USB) に音楽ファイル以外のファイルを保存していませんか？	フォルダやファイルの数が多いときは、読み込みに時間がかかることがあります。 音楽ファイル以外のファイルがフォルダ内にあるときも読み込みに時間がかかるので、音楽ファイル以外のファイル、フォルダは入れないようにしてください。
ライブラリブラウズできない。	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしていますか？	ライブラリ情報が記録されているメディアをセットしているときだけライブラリブラウズで表示できます。ライブラリ情報が記録されていないメディアをセットしたときはフォルダブラウズで表示します。
[HISTORY] が表示されない。	記録メディア (SD, USB) をセットしていますか？	[HISTORY] は、記録メディア (SD, USB) をセットしている DJ プレーヤーでお使いいただける機能です。
何も表示されない。	オートスタンバイ機能が働いていませんか？	本機は、オートスタンバイ機能をオンに設定して出荷しています。オートスタンバイ機能をお使いにならないときは、[AUTO STANDBY] を [OFF] に設定してください。(37ページ)
目盛表示がされない。	曲の長さが 15 分以上ありませんか？	再生時間が 15 分以上ある曲の場合は目盛表示は行われません。(19ページ)
PRO DJ LINK がうまく動かない。	プレーヤー番号が正しく設定されていますか？ LAN ケーブルが正しく接続されていますか？ スイッチングハブの電源がオンになっていますか？ スイッチングハブに不要な機器が接続されていますか？	[PLAYER No.] を [AUTO] または現在の設定とは異なる番号に変更してください。(36ページ) LAN ケーブルを [LINK] 端子に正しく接続してください。 スイッチングハブの電源をオンにしてください。 スイッチングハブから不要な機器を取り外してください。

液晶画面について

- 液晶画面の中に小さな黒い点や明るく光る点 (輝点) が現れることがあります。これは液晶特有の現象で故障ではありません。
- 寒い場所でお使いになるときは、本機の電源をオンにしたあとしばらく液晶画面が暗いことがあります。時間が経つと正常な明るさに戻ります。
- 液晶画面に直射日光が当たると、光が反射し映像が見づらくなりますので、直射日光をさえぎってください。

iPod/iPhone/iPad について

- 本製品は、パイオニアホームページに記載されている iPod/iPhone/iPad のソフトウェアバージョンに基づいて開発、テストされたものです。(http://pioneerdj.com/support/)
- パイオニアホームページに記載されているバージョン以外のソフトウェアをお客様の iPod/iPhone/iPad にインストールした場合、本製品との互換が無くなる場合があります。
- iPod/iPhone/iPad の動作に関しては保障致しかねますのでご了承ください。
- 使用時に iPod/iPhone/iPad のデータ等が消失した場合でも、その保証については責任を負いかねますのでご了承ください。
- iPod/iPhone/iPad は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを、個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

エラー表示

本機が正常に動作できないときは表示部にエラーコードを表示します。以下の表で確認して処置してください。以下の表にないエラーコードが表示されるときや、処置しても同じエラーコードが表示されるときは、お買い上げの販売店またはお近くのバイオニアサービスステーションにご連絡ください。

エラーコード	エラータイプ	エラー内容	原因と処置
E-7201	CANNOT READ DISC	TOC データが読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクにひび割れがある。→ ディスクを交換してください。
E-8301	CANNOT READ DISC	正常に演奏できないディスクがセットされている。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが汚れている。→ ディスクをクリーニングしてください。 他のディスクで正常に動作するときはディスクに原因があります。
E-8302	CANNOT PLAY TRACK(****)		
E-8303	CANNOT PLAY TRACK	ディスク内のまたは記録メディア (SD, USB) 内のトラックデータ (ファイル) が正常に読み取れない。	<ul style="list-style-type: none"> トラックデータ (ファイル) が破損している可能性があります。→ 本機と同じフォーマットを再生できる別のプレーヤーなどで、トラック (ファイル) が再生できるか確認してください。
E-8304 E-8305	UNSUPPORTED FILE FORMAT	正常に演奏できない音楽ファイルをロードしている。	フォーマットに従っていない。→ フォーマットに従った音楽ファイルに交換してください。
E-9101	MECHANICAL TIMEOUT	ディスクの読み込み中または取り出し中にメカエラー (タイムアウト) になった。	規定時間内にメカ動作が終了しなかったときに表示されます。

本体表示部表示アイコン一覧

	ジャンル		プレーヤー 番号 (1 ~ 4)		SD		フォルダ開		コメント
	アーティスト		ホットキュー		コンピュータ		フォルダ閉		WAIT
	アルバム		ディスク		年		リミキサー		rekordbox
	トラック/ ファイル名		タグリスト 登録済み		レーベル会社		オリジナル アーティスト		ミキサー
	プレイリスト HISTORY ホットキュー バンクリスト		テンポ (BPM)		キー		サーチ		
	レーティング		カラー		ビットレート		DJ プレイカウント		
	時間		USB		再生中		ライブラリ追加日		

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

別紙に記載の修理受付窓口、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

音楽管理ソフトウェア rekordbox は保証書に記録されている無料修理等の対象ではありません。rekordbox をインストールし、あるいはご利用するにあたっては、8 ページの「ソフトウェア使用許諾契約書」の条項をよくお読みください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

本書の 42 ページの「故障かな？と思ったら」をお読みいただき、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しないときには、必ず電源プラグを抜いてから、次の要領で修理を依頼してください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名：マルチプレーヤー
- 型番：CDJ-2000NXS
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したメディアも）で、どうなる」といった詳細

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている弊社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

使用上のご注意

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きやすくなります（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに 1～2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやほこりがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このようなときは、「保証とアフターサービス」をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販のクリーニングディスクはレンズを破損する恐れがありますので、使用しないでください。

ディスクの取り扱いかた

保管

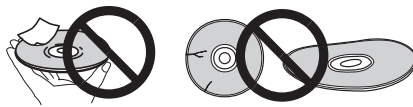
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やほこりが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。



- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用しないでください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞りを拭き取ったあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生できなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。



特殊な形のディスクについて

本機は一般の 12 cm ディスク以外の異形ディスクは再生できません（故障・事故の原因になることがあります）。本機では、特殊な形のディスク（ハート型や六角形等）は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。



ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

商標および登録商標について

- Pioneer および rekordbox は、パイオニア株式会社の登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows Vista®、Windows®、Internet Explorer® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は米国 Intel Corporation の登録商標です。
- Adobe および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- ASIO は Steinberg Media Technologies GmbH の商標です。
- SD ロゴは SD-3C,LLC の商標です。



- SDHC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。



- 「Made for iPod」、「Made for iPhone」および「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone あるいは iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。このアクセサリを iPod、iPhone あるいは iPad と使用することにより、無線の性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。



- Apple、iPad、iPod、iPod touch、iTunes、Safari、Finder、Mac、Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Android™ は Google Inc. の商標です。
- IOS は、米国およびその他の国における Cisco 社の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance の登録商標です。

MP3 の利用について

本製品は非営利的使用のためのみにライセンスされており、営利的目的での（収益の発生するような）、実際の放送（地上波放送・衛星放送・有線放送・あるいは他のメディアを利用した放送）、インターネットやイントラネット（企業内ネット）あるいは他のネットワークを利用した放送・ストリーミング、またその他の電子的情報を提供するシステム（音楽の有料配信など）のためにはライセンスされておりません。このような使用には個別にライセンスを取得する必要があります。詳しくは <http://www.mp3licensing.com> をご参照ください。

その他記載されている会社名および製品名等は、各社の登録商標または商標です。

仕様

消費電力37 W
待機時消費電力 (スタンバイ状態)0.4 W
本体質量4.7 kg
外形寸法320 mm (幅) × 106.5 mm (高さ) × 405.7 mm (奥行)
許容動作温度+ 5 °C ~ + 35 °C
許容動作湿度5 % ~ 85 % (結露のないこと)

アナログ音声出力 (AUDIO OUT L/R)

出力端子 RCA 端子

デジタル音声出力 (DIGITAL OUT)

出力端子 RCA 端子
出力方式 同軸デジタル (S/PDIF)

USB ダウンストリーム部 (USB)

端子 A タイプ
電源供給 5 V/2.1 A 以下

USB アップストリーム部 (USB)

端子 B タイプ

LAN (PRO DJ LINK)

規格 100Base-TX

コントロール出力 (CONTROL)

端子 ミニジャック

SD メモリーカード部

ファイルシステム SD 規格「SD Specifications Part 2 File System Specification Version 2.00」に準拠
最大メモリー容量 32 GB

メインディスプレイ

表示方式 TFT 液晶 (LCD) アクティブマトリクス
画面サイズ 6.1 インチワイド
対応言語 18 カ国語

- 本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- ©2012 パイオニア株式会社
禁無断転載
パイオニア株式会社
〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉 1 番 1 号
<DRJ1011-A>